

平成30年 7月3日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 生活

代表者 郷原小 学校

氏名 芳川 雅行

呉市教科用図書調査・研究報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【生活】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	①具体的な活動や体験を通して学ぶための工夫
方 法	○飼育単元の学習活動の流れ, 住みかや餌等飼育方法が示されている生き物

発行者	調査・研究内容
東書	<p>「いきものとなかよし」上巻 pp. 51-59</p> <p>○ <u>学習活動の流れ</u></p> <p>p51 導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草原にいるショウリョウバッタの顔写真 <p>pp. 52-53 むしをさがそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校庭で虫を探している児童のイラスト ・虫の写真 (アリ・バッタ・トンボ・コオロギ・カマキリ) <p>pp. 54-55 むしと なかよくなるう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察・紹介・観察後の様子を表す写真やイラスト <p>pp. 56-57 いきものずかん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物の飼育ケースと餌のイラスト <p>pp. 56-59</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モルモットの飼育の写真 獣医に相談しているイラスト <p>○ <u>住みかや餌等の飼育方法が示されている生き物</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショウリョウバッタ (重点扱い) <p>上記と同じ方法で飼育できると紹介…トノサマバッタ・コバネイナゴ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンブバッタ・コオロギ・エンマコオロギ・ツツレサセコオロギ・マツムシ ・スズムシ・モルモット <p>○ <u>特徴</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察後は元いた場所に戻すイラストがある。 ・観察後の活動が写真で示してある。 コオロギと餌のペープサート, モルモットを粘土で作る活動。 ・モルモットの飼育方法が写真で示してある。 膝の上に布を敷き, モルモットを載せて触っている。 小さな容器にモルモットを移動させて掃除する。 エサは明記されていない。 ・飼い方を調べる方法が記載されている。 本で調べる・上級生に聞く・家の人に聞く <p>「生きものとなかよし 大作せん」下巻 pp. 33-43</p> <p>○ <u>学習活動の流れ</u></p> <p>p. 33 導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川にいるザリガニを見て驚いている3人の児童の写真 <p>pp. 34-35 生きものを さがしに 行こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開き中央に校区のイラスト ・公園の池でザリガニを見つけて, 捕まえてもよいか管理人に聞いている児童の

	<p>イラスト</p> <p>pp. 36-37 生きものを とりに 行こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野外で生き物を捕まえている児童の写真とイラスト ・教師にオタマジャクシを持ち帰ってもよいか尋ねているイラスト <p>pp. 38-39 生きものを そだてよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察・飼育の様子を表す写真 <p>pp. 40-41 生きものの ことを つたえよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室に飼育コーナーを作り、生き物広場を開いている見開きイラスト <p>pp. 42-43 生きもの ずかん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物の飼育ケースと餌のイラスト <p>○ <u>住みかや餌等の飼育方法が示されている生き物</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ザリガニ (重点扱い) ・ダンゴムシ ・カエル (オタマジャクシ) ・アゲハチョウ <p>○ <u>特徴</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生や地域の人を招待し、「生きもの広場」を開いている。 ・掲示物が紹介してある。 (イラスト:「ザリガニ新聞」「ヤゴがトンボになるまで」 写真:「カエルのせい長新聞」) ・学校での観察後を示すイラストがある。 (元いたところに戻す。家で飼育する。) ・生き物の成長を写真と言葉で示してある。 (カエルの せい長: (カエル) 正方形の写真5枚 せい虫になるまで: (アゲハチョウ) 台形の写真7枚)
大日本	<p>「あきとなかよし いきものとなかよし」上巻 pp. 52-59</p> <p>○ <u>学習活動の流れ</u></p> <p>pp. 52-53. どんなところにいるのかな</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土手で虫取り網を持ち、生き物を探す男児4名の1ページ分の写真 ・虫取り名人と一緒に探している小さな写真 ・湿った所、鉢を移動して探しているイラスト ・ヨウシュヤマゴボウなどの草のイラストの描かれた透明フィルム ・野原に生き物が住んでいる1ページ分のイラスト <p>pp. 54-55 できたよ むしのうち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物の飼育ケースのイラスト 霧吹きの写真 <p>pp. 56-59 むしの ふしぎを みつけた!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察・紹介・観察後の様子を表す写真やイラスト <p>○ <u>住みかや餌等の飼育方法が示されている生き物</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンブバッタ・コオロギ・テントウムシ <p>○ <u>特徴</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・虫眼鏡を使って観察している。

- ・ファーブル昆虫記の抜粋，教師の読み聞かせを聞いている児童のイラストがある。
- ・ウサギの観察と獣医への質問のイラストがある。
- ・生き物が多く紹介されている。
- ・観察後は元いた場所に戻すイラストがある。

「がくしゅうどうぐばこ 5むし むし むし」上巻 pp. 118-121

- ・生き物のイラストと活動する季節，住みかを表すマーク
- ノコギリクワガタ・カナブン・ゴマダラカミキリ・ナミテントウ・ナツアカネ・アゲハ・オニヤンマ・アオスジアゲハ・アオドウガネ・モンキチョウ・キアゲハ・ベニシジミ・モンシロチョウ・ツチイナゴ・ツマグロオオヨコバイ・オンブバッタ・ナナホシテントウ・ツマグロヒョウモン・オオカマキリ・ショウリョウバッタ・ツヅレサセコオロギ・アオクサカメムシ・クロオオアリ・エンマコオロギ・ケラ・ギンヤンマ・シオカラトンボ・キリギリス・クロイトトンボ・トノサマバッタ・ヒゲジロハサミムシ・アメンボ

「生きもの はっけん 生きてるって すごい！」下巻 pp. 30-41

○ 学習活動の流れ

pp. 30-31 導入

- ・アメリカザリガニを川で捕まえている児童の見開き写真 縦型

pp. 32-35 どんな生きものが いるかな

- ・丘から学校を見下ろす風景の中で生き物が生息しているイラスト
- ・住みか別に生き物を写真で分類

「田んぼや川，池の中」「林の中の木」「草原や花だん」「学校のプール」

pp. 36-37 見つけたよ！

- ・川で生きものを探している児童の写真 イラスト
- ・ザリガニゲット大さくせん (4コマ漫画)
- ・何をもっていけばよいかイラストで示している。
(さお・あみ・ペットボトルでつくった籠・シューズ)

pp. 38-39 大切にすよ

- ・生き物の飼育ケースと餌のイラスト・写真

pp. 40-41 生きものってすごいな

- ・観察・紹介の様子を表す写真やイラスト

○ 住みかや餌等の飼育方法が示されている生き物

- ・ザリガニ・ダンゴムシ・カタツムリ・トンボ

○ 特徴

- ・児童が大切に飼育しようと意欲をもつような，イラストや言葉がある。
- ・レインボーうんち大さくせん (イラスト) がある。
- ・死んでしまったよ (イラスト) 「かなしいね。かけがえのない いのちなんだね。」という言葉があり，死を取り扱っている。

「いきもの だいすき」上巻 pp. 84-95

○ 学習活動の流れ

pp. 84-85 導入

- ・モルモットを触っている児童4名の1ページ分の写真
- ・みたことあるかな：チャボ・ウサギ・ヤギ・アヒルの写真

pp. 86-87 ようこそ ちいさな おともだち

- ・教室でモルモットと出会っている児童の写真・イラスト

pp. 88-89 もっと なかよく なりたいな

- ・モルモットの観察（体の細かい部分）の写真・イラスト

pp. 90-91 モルモット だいすき

- ・モルモットの紹介・飼育の様子を表す写真
- ・ヤギ・ウサギ・チャボの世話をしている様子

pp. 92-95 どんな生きものが いるのかな

- ・校庭で生き物を探している児童のイラスト
- ・観察飼育を表すイラスト

○ 住みかや餌等の飼育方法が示されている生き物

- ・モルモット・チャボ・ウサギ・ヤギ・アヒル

○ 特徴

- ・モルモットに特化して単元が構成されている。
- ・モルモットの飼育方法が写真入りで示してある。
- ・モルモットを抱きかかえている。
- ・名前を付けたり，家を作ったり爪を切ったりするなどの様子が示されている。
- ・困った時には獣医に相談する。心音を聞くなどの活動が示されている。
- ・餌は明記されていない。
- ・飼育・観察後の活動が写真で示してある。
モルモット劇場・モルモットのお面とペープサート・ダンス
- ・保護色の虫の写真がある。
- ・観察後は元いた場所に戻すイラストがある。

学図

「生きものと 友だち」下巻 pp. 56-75

○ 学習活動の流れ

pp. 56-57 導入

- ・16種類の生き物の写真やイラスト

pp. 58-63 生きものを さがしに 出かけよう

- ・公園で生き物を探している児童の写真
- ・折込ページを開くと川辺で生き物が生息している4ページ分のイラストがある。

pp. 64-65 みつけた みつけた

- ・野外で生き物を探している児童の写真

pp. 66-67 どうやって そだてようか

- ・ザリガニの観察・調べ学習の様子を表すイラスト

pp. 68-69 ぼくの わたしの ザリガニ 大はっ見!

- ・ザリガニの生態を表す写真

	<p>pp. 70-71 どんな ところに いるのかな</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野外で生き物を探している児童の写真 <p>pp. 72-73 ダンゴムシ 大けんきゅう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンゴムシの観察・紹介を表す写真 <p>pp. 74-75 ものしりノート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物の飼育ケースと餌のイラスト <p>○ <u>住みかや餌等の飼育方法が示されている生き物</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ザリガニ (重点扱い) ・ダンゴムシ (重点扱い) ・キリギリス・アリ・ヤゴ ・アゲハチョウ <p>○ <u>特徴</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の中心的生き物が2種である。 ・観察後の活動が写真で示してある。 <ul style="list-style-type: none"> ダンゴムシとワラジムシの比較を表したカード ダンゴムシのオスとメスの違いを表したカード ダンゴムシの迷路 ・虫眼鏡を使って観察している写真がある。 ・ダンゴムシが丸くなる様子を示す3枚の分解写真と、それに対応する児童のイラストがある。 ・観察後は元いた場所に戻すイラストがある。
<p>教出</p>	<p>「なかよく なるうね 小さな ともだち」上巻 pp. 58-65</p> <p>○ <u>学習活動の流れ</u></p> <p>pp. 58-59 導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室の床にいるモルモットを触っている児童の写真 (大) ・モルモットを腕で抱いている児童と触っている児童の写真 (中) ・おしゃべりタイム (だれの足かな?) <p>pp. 60-61 なかよくなるう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校庭や鶏小屋, 教室で生き物の観察をしている児童の写真 <p>pp. 62-63 ようこそ じぶんたちでそだてよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モルモットの飼育の様子を表す写真 <p>pp. 64-65 いきもの ようす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モルモットの紹介の様子を表す写真 ・生き物の気持ちになろう <p>○ <u>住みかや餌等の飼育方法が示されている生き物</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・モルモット <p>○ <u>特徴</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物と直にふれあう様子が紹介されている。 ・ダンゴムシを手に這わせている。 ・カナヘビを持っている。 ・モルモットを中心に単元が構成されている。

	<p>餌と住みかのイラスト 一人の児童が布の上にモルモットを乗せ抱きかかえ、もう一人の児童が心音を聞いている写真がある。 餌を給食室でもらっているイラストがある。 病気になって獣医に診てもらっているイラストがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発見ヒント(イラスト) モルモットの飼育 ・観察後の活動が写真で示してある。 モルモットのしぐさの身体表現・絵・粘土・観察記録を家で紹介・お面 ・「生き物の気持ちになろう」という言語活動のページがある。 <p>「めざせ 生きものはかせ」下巻 pp. 36-47</p> <p>○ <u>学習活動の流れ</u></p> <p>pp. 36-37 導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山で飼育ケースに入った生き物を見ている4人の児童と、養老孟司先生の写真 ・おしゃべりタイム どこにいるのかな？(保護色の生き物の写真) <p>pp. 38-39 生きものを つかまえよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山里で生き物を探している児童と養老先生の写真 <p>pp. 40-41 生きものを かってみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物の観察の様子を表す写真・飼育方法の紹介 <p>pp. 42-43 生きものはかせに なろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカザリガニの観察 <p>pp. 44-45 生きものはっぴょう会を しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室に飼育コーナーを作り、生き物発表会を開いている見開きイラスト <p>pp. 46-47 生きもの クイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アゲハ・カブトムシ・シオカラトンボの成長を写真でクイズにしている。 <p>○ <u>住みかや餌等の飼育方法が示されている生き物</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・シオカラトンボ・ダンゴムシ・アメリカザリガニ <p>○ <u>特徴</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・昆虫の体のしくみを紹介している「頭・むね・はら」 ・「地球となかよし」マークがあり、飼えないものは逃がすこと、外来種のアメリカザリガニは最後まで飼育することが書いてある。 ・観察後の活動が示してある。 歌と踊り・家庭で生き物の秘密を教える。 掲示物「やごのヤッピーの図かん」「ザリガニのザリナ新聞」
光村	<p>「いきものとなかよし」上巻 pp. 72-83</p> <p>○ <u>学習活動の流れ</u></p> <p>pp. 72-73 ホップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校でウサギ1羽と児童2名がふれあっている見開き写真 <p>pp. 74-75 ステップ がっこうには、どんな いきものが いるかな</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校にいる生き物を写真で紹介

- ・きんぎょ・にわとり・モルモット・ハムスター・うさぎ・めだか
- pp. 76-77 ステップ なかよしに になりたいな
 - ・モルモットの観察の様子を表す写真
 - ・獣医に心音を聞かせてもらっているイラスト
 - ・男児がモルモットを膝に乗せ両脇に両親がいるイラスト
- pp. 78-79 ステップ もっと なかよしに なれるかな
 - ・モルモットの食べものを本で調べているイラスト
 - ・世話の仕方についてアドバイスしたイラスト
- pp. 80-81 いっぱいわかったよ。こんなに なかよしだよ。
 - ・「はてな」「こまった」などの気付きを小さい紙に書き、掲示板風にまとめている。
- pp. 82-83 ジャンプ つたえあおう ずっと なかよし
 - ・教室で児童2名がモルモットにリンゴを与えている見開き写真と感想や分かったことの吹き出し

○ 住みかや餌等の飼育方法が示されている生き物

- ・モルモット

○ 特徴

- ・モルモットを中心に単元が構成されている。
 - (餌と住みかのイラスト・掃除やフンのイラスト・モルモットを膝の上に乗せている写真・分からないことを詳しい人(獣医・両親)に聞いているイラストや写真・健康観察カード)
- ・飼育のヒントを示している。

「小さな なかまたち」下巻 pp. 46-61

○ 学習活動の流れ

- pp. 46-47 ホップ
 - ・葉に止まっている昆虫の影の見開き写真
- pp. 48-51 ステップ どこに いるかな, なにが いるかな
 - ・野外で生き物を探している児童の写真(6枚)文字がない。
 - ・生き物の写真と住みかのイラスト
- pp. 52-55 ステップ かってみたいな, できるかな
 - ・教室で生き物の飼育方法を考えている児童の見開きイラスト
 - ・4種類の生き物の写真と餌・飼育ケースのイラスト
(ダンゴムシ・アメリカザリガニ・ヤゴ・アゲハの幼虫)
- pp. 56-59 ステップ ふしぎ, びっくり 大はっけん
 - ・生き物の観察や観察後の様子を写真とイラストで紹介
 - ・観察記録の例・クイズ
- pp. 60-61 ジャンプ みんな 生きている
 - ・野原(公園)で虫取り網で捕まえた生き物を見ている児童3名の見開き写真
 - ・児童がバッタを見つけるのも飼うのも上手であることや逃がすか飼うかを考える吹き出しがある。

	<p>○ <u>住みかや餌等の飼育方法が示されている生き物</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンゴムシ・アメリカザリガニ・ヤゴ・アゲハの幼虫 <p>○ <u>特徴</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アゲハの幼虫が成虫になる分解写真（4枚）がある。 ・ダンゴムシが丸くなる様子を示す4枚の分解写真と、それに対応する児童のイラストがある。 ・観察後の活動が写真とイラストで示してある。 ・ダンゴムシを実物投影機で友達に紹介しているイラストがある。 ・本にまとめている。「がんばれもこちゃん」（アゲハの成長記録）
啓林館	<p>「いきものとなかよし」上巻 pp. 60-69</p> <p>○ <u>学習活動の流れ</u></p> <p>pp. 60-61 導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウサギに頬をよせている児童の写真（大） ・生き物や生き物を手に乗せている児童の写真（中5枚） <p>pp. 62-65 生きものに あいに いこう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウサギの飼育小屋の外で触れ合っている児童と獣医の見開きイラスト ・抱き方の紹介・ウサギの観察記録 ・ウサギのひみつ（体の部分のクローズアップ写真） <p>pp. 66-69 なかよしを しょうかいしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウサギの紹介の様子を表すイラスト ・ダンゴムシ ・生き物への感謝の気持ちを表す見開きイラストページが2ページある。 <p>○ <u>住みかや餌等の飼育方法が示されている生き物</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウサギ <p>○ <u>特徴</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウサギを中心に単元が構成されている。 しゃがんで抱く・観察する時の注意事項（やめてね） 餌を与えているイラスト ・観察後の活動がイラストで示してある。 グループトーク・動作化・餌の紹介 家の人にウサギと仲良しになる秘密を教える。 ・生き物に対する感謝のページ（イラスト）が大きくとられている。 <p>「みんな 生きている」下巻 pp. 50-61</p> <p>○ <u>学習活動の流れ</u></p> <p>pp. 50-51 導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽を広げてジャンプしているバッタの写真（大） ・生き物の写真（中・小）カマキリ・ウサギ・カタツムリ・ダンゴムシ・カエル <p>pp. 52-55 生きものたんけんに出かけよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林や森、海（干潟）、草原、水辺で生き物を探している児童のイラスト <p>pp. 56-59 かって みよう せわを しよう</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・生き物の観察の様子を表す写真・飼育方法の紹介 pp. 60-61 みんなに 見せよう 知らせよう ・教室に飼育コーナーを作り、生き物の紹介をしている見開きイラスト ・観察後の様子を表すイラスト (これからどうしようかな) <p>○ <u>住みかや餌等の飼育方法が示されている生き物</u></p> <p>pp. 115-117 巻末「生きものの かいかた」</p> <p>水の生きもの メダカ・フナ・タナゴ・サワガニ・カニ (海のカニ)</p> <p>りくの生きもの ダンゴムシ・アリ・ナナホシテントウ・ナミテントウ・</p> <p> バッタ・コオロギ・スズムシ・カブトムシ・クワガタ</p> <p>へんしんする生きもの オタマジャクシ・アゲハのよう虫・モンシロチョウのよ</p> <p> う虫・クワガタやカブトムシのよう虫</p> <p>別冊の生活探検ブック pp. 22-33</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンゴムシ・カタツムリ・オンブバッタ・コオロギ・ヤゴ・アマガエル・フナ ・メダカ・カニ (海のカニ) <p>○ <u>特徴</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・別冊があり、飼育方法や特徴が調べやすい。 ・多くの生き物が紹介してある。 ・観察後の活動がイラストで示してある。 <p>(歌・生き物の特徴を示した掲示物・モルちゃんだっこコーナー・図鑑 パズル・劇)</p>
<p>日文</p>	<p>「みなさん こんにちは」上巻 pp. 54-69</p> <p>○ <u>学習活動の流れ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大單元の中に、生き物・植物・探検の学習が組み込まれている。 <p>○ <u>住みかや餌等の飼育方法が示されている生き物</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンゴムシ (児童が飼育ケースの中のダンゴムシを観察している写真のみ) <p>○ <u>特徴</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童のワークシートの中に、「みつけかたやかいかたをみんなにおしえたいです」とあるが、具体的な表記がない。 <p>「いきものとなかよし」下巻 pp. 40-65</p> <p>○ <u>学習活動の流れ</u></p> <p>pp. 40-41 導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物と児童の様子を布で作ってある作品を写真に撮ったものが見開き2ページにある。 <p>pp. 42-43 いろいろな 生きもの 知って いるよ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野外、学校、家、ペットショップで生き物と触れ合っている児童のイラスト ・5種類の生き物の写真 <p>pp. 44-45 何か いるかな</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や公園で生き物を探している児童のイラスト

- pp. 46-47 大切に そだてるよ
- ・生き物の観察・飼育のようすを表す写真とイラスト
 - ・アメリカザリガニとダンゴムシの写真
- pp. 48-49 よく見ると…
- ・生き物の生態写真アリとダンゴムシ、ダンゴムシの丸くなる様子。
 - ・ハサミを振り上げるザリガニの写真
- pp. 50-51 ふしぎなこと発見！（学習していない漢字にルビ付き）
- ・飼育中の発見・観察して見つけた事をワークシートに書いている。
- pp. 52-53 だっこしても いい？
- ・ウサギやハムスターと触れ合ったり、観察したりする様子の写真
- pp. 54-55 よろこんで くれるかな
- ・ハムスターの住みかや餌について示し、健康観察をしている。
- pp. 56-57 教えて あげたいな
- ・教室に飼育コーナーを作り、生き物の紹介をしている見開きイラスト
- pp. 58-59 ずっといっしょに いたい けれど
- ・観察後の活動を表す 写真とイラスト
 - ・話し合いを促す表記、原稿用紙1枚半の作文の写真
- pp. 60-61 秋や 冬の 生きものたち
- ・秋や冬の生きものたちの様子（隠れている場所など）が表されているイラスト

○ 住みかや餌等の飼育方法が示されている生き物

- ・ハムスター
 - 「ひみつ 発見 大発見」 pp. 62-65
- ・ザリガニ・カブトムシ・ヤゴ（トンボ）・アオムシ（モンシロチョウ）・ダンゴシ
- ・カタツムリ・メダカ・オタマジャクシ（アマガエル）

○ 特徴

- ・「ひみつ 発見 大発見」のページが単元後にあり、飼育方法や生き物の一生、保護色の生き物の写真がある。
- ・観察後の活動がイラストと写真で示してある。
 - （ザリガニを実物投影機で紹介する・絵・掲示物「ザリちゃんコーナー」「ダンゴ虫の一生」「テントウムシのひみつ」「カタツムリの森」・作文・工作）

【生活】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	②自分と身近な人々，社会及び自然とのかかわりを深めるための工夫
方 法	○地域で生活したり，働いたりしている人々と児童が関わる絵や写真，四季の変化を対比させたページ

発行者	調査・研究内容
東書	<p>人々との関わり</p> <p>下 p26 警察官 (写真) p26, 70, 72 和菓子屋の店員 (写真) p72, 74, 79 和菓子屋の職人 (写真) p26 婦人警官 (写真) p73, 75, 79 農家 (写真) p58 司書 (イラスト) p59, 60 図書館の司書 (写真) p62 科学館の職員 (写真) p73, 75, 79 グランドゴルフをしている高齢者 (写真) p73, 75 祭りの太鼓をたたいている地域の人 (イラスト) p79 ザリガニ取りを教えてくれた地域の人 (写真)</p> <p>四季の変化を対応</p> <p>上 p36-37, p64-65 夏・秋の公園 (イラスト)・自然 (写真) p38-39, p62-63, p92-93 春・秋・冬の丘 (イラスト)・自然 (写真)</p> <p>下 p6-7, p44-45, p64-65 と p86-87 四季の山里, 商店街 (イラスト) 自然, 地域の行事 (写真)</p>
大日本	<p>人々との関わり</p> <p>下 p23 和菓子屋の店員 (写真) p24 警察官 (写真) p27, 58 魚屋 (写真) p54 農家 (イラスト) p58, 65 花屋 (写真) p60, 67, 72 八百屋 (写真) p61 図書館司書 (写真) p64, 72 和菓子屋の職人 (写真) p65 豆腐屋・カメラ屋・洋菓子屋 (写真) p66 公園でベビーカーに乗っている乳児と夫婦・カフェ (写真) p67 駅員・車いすに乗っている人と補助している人 (写真)</p> <p>四季の変化を対応</p> <p>上 p14-15, p86-87, p108-109 春・冬・春の校庭 (イラスト)</p> <p>下 p8-9 春の校庭</p>
学図	<p>人々との関わり</p> <p>下 p18 図書館の司書 (写真) p20, 22 豆腐屋・パン屋 (写真) p23 消防士・八百屋・農家 (写真) p22-23 豆腐屋・パン屋・農家 (イラスト) p25 消防士 (イラスト)</p> <p>四季の変化を対応</p> <p>上 p50-51, p62-63, p66-67, p76-77 四季の公園 (イラスト)・自然・子ども (写真) p124-130 生きもの図鑑 (四季の自然の写真)</p> <p>下 p30-37 四季の町 (イラスト) 地域の行事や自然 (写真)</p>

<p>教出</p>	<p>人々との関わり 下 p26-27 子ども文化センター職員 (写真) p24-25, 55, 57 和菓子屋の職人 (写真) p25 花屋・八百屋 (写真) p28, 54, 56 図書館の司書 (写真) p30 安全パトロールの人・警察官 (写真) p31, 50-51, 58 消防団員 (写真) p55 パン屋 (写真) p55 ケーキ屋・畳屋 (写真) p55, 58 駅員 (写真) p55, 59 児童館の職員 (写真) p55, 57 レストラン (写真)</p> <p>四季の変化を対応 上 p26-27, p52-53, p68-69, p92-93 四季の公園 (イラスト)・自然・自然と触れ合う子ども (写真) 下 p18-19, p48-49, p68-69, p82-83 四季の町 (緻密なイラスト)・地域の行事 (写真)</p>
<p>光村</p>	<p>人々との関わり 下 p10 保育士・ケーキ屋 (イラスト) p11 図書館の司書・餅つきをしている人 (イラスト) p18-19, 25 ケーキ屋・お客 (写真) p20 消防士 p20 子ども110番の家の人・駅員 (写真) p22-23, 25 図書館の司書 ・本を借りに来ている人: 幼児, 高齢者, 車いすに乗った人 (写真)</p> <p>四季の変化を対応 上 p46-47, p56-57, p60-61, p66-67 四季の公園 (イラスト)・自然・自然と触れ合う子ども (写真) p108-119 「きせつのおくりもの」 四季と初春のイラスト・自然の写真 下 p96-103 「きせつのおくりもの」町のイラスト</p>
<p>啓林館</p>	<p>人々との関わり p20-21, 66-67 和菓子屋の職人 (写真) p28-29, p69, 78 和菓子屋の店員 (写真) p28 駅員 (写真) p66, 79 農家 p29, 79 消防士 p65 和菓子屋の店員 (イラスト) p34, 67, 79 図書館の司書 (イラスト) p79 図書館の司書 (写真) p79 八百屋</p> <p>四季の変化を対応 上 p20-21, p54-55, p82-83, p96-97 四季の校庭 (イラスト)・自然 (写真) p44-45, p84-85 春と秋の公園 (イラスト)・自然 (写真) 下 p26-27, p32-33, p64-65, p72-73 四季の町 (イラスト) 和菓子・建物・町内会掲示板・自然 (写真)</p>

日 文	人々との関わり
	下 p10, 12, 18 パン屋 (写真)
	p10 パン屋のお客さん (写真)
	p11, 13 図書館の司書・お茶屋 (写真)
	P11 茶笥を作る人 (写真)
	P13 お茶の先生 (写真)
	四季の変化を対応
	上 p58-59, p66-67, p76-77, p90-91
	公園・草原に寝転んでいる子どもたち・自然・自然とふれあう子ども (写真)
	p100-101 季節の違い (イラスト)
p126-133 「きせつだより」四季の公園・地域の行事・外国の祭り (写真)	
下 p60-61 上下で秋と冬の水辺の比較 (イラスト)	

【生活】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	③自分自身や自分の生活について考えるための工夫
方 法	○学習活動の例, 相互評価・他者評価の例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>「もうすぐ2ねんせい」(上巻p101-110)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いちねんかんをふりかえろう (あったこと・できるようになったことを振り返る。) ○あたらしい1ねんせいをしょうたいしよう (新しい1年生に学校のことを紹介する。) ○しょうたいしたことをふりかえろう (新しい1年生を招待したことを振り返り, 話し合う。他者評価「幼児からの手紙」) ○ありがとうわたしたちのきょうしつ (1年間を振り返り, あたらしい1年生のために, 掃除をしたり, 絵を掲示したりする。) ○もうすぐ2年生 (2年生になったらしてみたいことを書く。) <p>「あしたへジャンプ」(下巻p91-102)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大きくなった自分のことをふりかえろう (できるようになったことを振り返る。他者評価 九九認定カード) ○大きくなった自分のことをしらべよう (友達や保育所の先生など自分の身の周りの人に自分のことを尋ねる。他者評価「すごいねカード」「ありがとうカード」「保育所の先生からの手紙」) ○大きくなった自分のことをまとめよう (多様な方法でまとめ, みんなに伝える。) ○ありがとうはっぴょう会をひらこう (お世話になった人を招待してできるようになったことを発表する。) ○すてきな3年生になろう (みらいの自分に手紙を書く。) <p>(工夫されている点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎キャラクターの吹き出しに, 思考を促す言葉が書かれている。 ◎話し合いを設けるなど振り返りを行っている。 ◎「べんりてちょう」で学び方等を示している。総合的な学習の時間につながるものが示されている。 ◎「大きくなった自分のことをまとめよう」では, すごろく・巻き物・新聞・ランキングなどのまとめ方を例示している。
大日本	<p>「もうすぐ2年生」(上巻p110-115)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○たのしかったよ1年かん (1年間を振り返り, 楽しかったことやできるようになったことを伝え合う。) ○ようこそあたらしい1年生 (新しい1年生を迎える準備をし, 招待して交流をする。) ○ありがとうわたしたちのきょうしつ (新しい1年生のために教室をきれいにする。) <p>「自分はっけん」(下巻p88-111)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○はっけん自分のよいところ (できるようになったことを出し合う。)

	<p>○教えてあげるよ、きみのすてき」(友達のよいところやできるようになったことを伝え合う。他者評価「よいところはっけんカード」)</p> <p>○自分のことをもっと知りたいな(家族に小さいころのことを聞いてみる。「母親からの手紙」)</p> <p>○いろいろな人にも聞いてみたいな(自分を知っているいろいろな人にも聞いてみる。)</p> <p>○自分のはっけんブックができた！(今まで調べたことをまとめ「自分のはっけんブック」を作る。)</p> <p>○ようこそ、自分のはっけんはっぴょう会(みんなで発表会の計画を立てて協力して準備をする。発表会を開いて、大きくなった自分たちを見てもらう。来てくれた人にお礼の手紙を書く。)</p> <p>○ありがとうをとどけよう(ありがとうの気持ちをカードに書いて友達やお世話になった人に届ける。)</p> <p>○おうちの人にもつたえたい(家族にもありがとうの気持ちを伝える。)</p> <p>○みらいにむかってはばたこう(これからの目標やなりたい自分を考える。)</p> <p>(工夫されている点)</p> <p>◎動物のキャラクターが登場し、活動を促したり、気付きを引き出したりするような言葉がけをしている。</p> <p>◎自分のことをいろいろな人に聞く時の多様な方法を示している。総合的な学習の時間につながる。「(がくしゅうばこ)のコーナー」</p> <p>◎下巻の「自分のはっけん」では、学習活動を一つ一つ丁寧に示している。友達と関わる活動を多く設定している。(お互いのよいところやできるようになったところを見つける。)</p> <p>◎お礼の手紙を書く場面を多く設定している。(お世話になった友達にお礼の手紙を書く。)</p> <p>◎児童にとって分かりやすいように学習の課題が明確に示されている。</p>
学図	<p>「もうすぐ2ねんせい」(上巻 p106-115)</p> <p>○できることがふえたよ。(できるようになったことを話し合う。)</p> <p>○あたらしい1年生をしょうたいしよう。(1年生を招待して学校のことを教えてあげる。)</p> <p>○まっているよしん1年生。(新1年生のために教室をきれいにかざる。)</p> <p>○2年生にむかって(2年生になってやってみたいことを書く。)</p> <p>「わたし大すきみんな大すき」(下巻 p96-111)</p> <p>○できるようになったこと(できるようになったことを振り返る。これまでの活動を振り返り、友達のよいところをキラリカードに書き、発表し合う。相互評価「キラリカード」)</p> <p>○小さいころのこと(小さいころのことをいろいろな人にインタビューして調べる。)</p> <p>○自分ものがたり(調べたことをもとに自分物語を書く。お世話になった人に感謝の気持ちを伝えるために手紙を書く。)</p> <p>○もうすぐ3年生(自分の夢や頑張っていることを書く。3年生になってがんばりたいことを書く。)</p>

	<p>(工夫されている点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎「ものしりノート」のコーナーがあり、自分の物語を書く時の方法について、絵本・巻き物・紙芝居を例示している。 ◎巻末に「学び方図かん」が設けてあり、「話す・聞く・見る・かく」などの学習の仕方を示している。児童が知りたいことを自分で調べることができるように、単元の中で「学び方図かん〇〇ページ」と示している。 ◎学習活動が児童の思考に無理なく流れていくように工夫されている。 ◎友達のおよさを見付ける「キラリカード」は他の単元でも活用することができる。
<p>教出</p>	<p>「もうすぐ 2年生」(上巻 p100-108)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○導入 もうすぐ2年生(「おしゃべりタイム」でどんなことを学習していきたいかを話し合う。) ○たのしかったね 1年生(入学してからのことを順番に思い出す。) ○すごいね じぶん(自分に拍手したいことをみんなと伝え合う。) ○ようこそ 小学校へ(新しい1年生に学校のことを教えてあげる。) ○もうすぐ2年生(2年生になったらどんなことをしたいか話し合う。) <p>「あしたヘダッシュ」(下巻 p84-92)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○導入 あしたヘダッシュ(「おしゃべりタイム」でどんなことを学習していきたいかを話し合う。) ○自分について考えよう(前の自分と比べて、どんなことができるようになったかを振り返る。) ○自分のすてきをさがそう(思い出したり、まわりの人に教えてもらったりする。友達からの評価。) ○ありがとうをつたえよう(一番伝えたい人にお礼の気持ちを伝える。) ○あしたにむかって(3年生の様子を見に行き、どんなことをしたいかを書く。) <p>(工夫されている点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎単元の導入に「おしゃべりタイム」が設定してある。児童が話し合う中で、学習の計画を立てられるようにしている。 ◎小単元の単元名とねらいが各ページに明確に示されている。また、他教科との関連も示されている。 ◎2年生の「自分のすてきをさがそう」では、どんな自分がすてきなのか友達や保育所の先生などから自分のすてきなどを教えてもらう活動を設定している。 ◎単元を振り返って自己評価する「ふりかえる」コーナーを設定している。 ◎2年生の「あしたヘダッシュ」では、単元の終わりに3年生と交流する活動を設定している。
<p>光村</p>	<p>「もうすぐみんなにねんせい」(上巻 p96-107)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○たのしかったね、いちねんせい(できるようになったことを振り返る。) ○いちねんせいはたのしいよ(来年度の1年生に学校のことを教えてあげる会を準備する。新1年生を招待して交流する。) ○たのしみだね にねんせい(2年生になってしたいことを書く) <p>「ひろがれわたし」(下巻 p82-95)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いまのわたしは どんなわたし(母親や教師、友達から今の自分について教えてもらう。他者評価「〇〇さんのここがすごいカード」) ○いまのわたしになるまでに(今までかかわりのある人に自分のことを聞く。) ○おもい出いっぱい、大きくなったよ(自分の選んだ方法でまとめ、発表する。) ○これからわたしは(これから頑張りたいことを作文に書く。)

	<p>(工夫されている点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 1年間を振り返る視点や、1年生との交流でどんなことをすればよいかの視点が明確に示されている。 ◎ 「ホップ ステップ ジャンプ」の3段階で学習活動が構成されており、子どもの思考が自然に無理なく深まっていく。 ◎ 「どうすればいいのかな」のコーナーがあり、自分で考えることができるようになっている。 ◎ 「いまのわたしは どんなわたし」で他者からの評価をもらう活動を設定している。
啓林館	<p>「もうすぐ2年生」(上巻 p104-115)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1年かんをふりかえろう (たのしかったことベスト3を決める。) ○ できるようになったこともたくさんあるね (できるようになったことをカードに書く。(相互評価として、友達にも「すごいところカード」を書いて渡す。)) ○ あたらしい1年生をむかえよう (新しい1年生にしてあげたいことを考え、招待する。教室を飾るなど新しい1年生を迎える準備をする。) ○ もうすぐ2年生 (2年生になってやりたいことやできるようになりたいことを書く。) <p>「これまでのわたし これからのわたし」(下巻 p86-100)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ とくいなことを見つけよう (私の自慢を紹介する。) ○ 自分たんけんをしよう (これまでの自分を振り返る。) ○ 自分のものがたりを作ろう (自分のできるようになったことや友達が教えてくれたいいところをまとめる。他者評価「メッセージカード」1年前の自分に手紙を書く。) ○ ありがとうをつたえよう (お世話になった人に「ありがとうカード」を書く。) ○ 明日にむかってすすもう (これからどんな人になりたいかを書く。) ○ 大人になったら (大人になったらやってみたいことや夢について書く。) <p>(工夫されている点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 「わくわく・いきいき・つたえあう・チャレンジ」と学習活動を4段階で構成している。 ◎ 巻末に「いきいきずかん」があり、単元の中で関連しているところのページが示されているので、児童が自分で調べて学習を進めることができる。ここでは、記録をまとめて伝える方法が示されている。 ◎ 1年生のできるようになったことを見付けるときの視点が明確に示されている。(学校のこと・家のこと・大きくなったこと・友達から)

<p>日文</p>	<p>「大きくなったね1年かん」(上巻 p112-121)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○おもいでいっぱい(1年間のことを振り返る。) ○いまのわたしはね・・・(できるようになったことを振り返る。) ○わたしのこと はっぴょうします(大事な思い出をわかりやすく伝える。新しい1年生のために教室の準備をする。2年生になって頑張りたいことを考える。) <p>「わたしのすてきのはばたく」(下巻 p96-115)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いいところ見つけた(自分や友達のいいところを探してカードに書く。相互評価) ○一番の思い出はね・・・(これまでのことを思い出し、思い出ベスト3に書く。) ○わたしのこと調べたい(いろいろな方法で自分にかかわる人たちに自分の小さいころのことを聞く。) ○いろいろなことがあったよ(自分のことをわかりやすくまとめる。) ○わたしのすてきを見てください(伝え方を工夫して発表する。) ○たくさんの人のおかげだよ(ありがとうの気持ちを手紙に書いて伝える。) ○これからのわたしは・・・(どんなわたしになりたいかをカードに書く。) <p>(工夫されている点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎2年生の「いいところを見つけた」では、4ページに渡ってどのようなことを視点に友達や自分のいいところを見つけていけばよいかを示している。 ◎巻末の「なんでもずかん」との関連が示してある。
-----------	--

【生活】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	④生活上必要な習慣や技能を身に付けるための工夫
方 法	○生活のきまりや安全についての例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>「がっこうだいすき」(上巻 p2-22)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターの吹き出しに「げんきよくあいさつができたかな」「なににきをつければよいのかな」などが書いてあり、児童自らが考えたり気付いたりできるようになっている。 ・「やくそく」コーナーがあり、学校探検をする時のきまりを示している。 ・通学路を歩くとき、安全を守ってくれている人や標識について詳しく書かれている。 ・防犯ブザー、子ども 110 番の家について紹介している。 ・地震が起きた時の避難場所等を確認するようになっている。 ・「家の人と通学路を歩こう」と生活場面での安全についても考えることができるようになっている。 ・学校の安全に関係ある器具の紹介や避難訓練について示している。 <p>「なつだあそぼう」(上巻 p34-50)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やくそく」コーナーに、公園で遊ぶ時のきまりが書かれている。 ・「やくそく」コーナーに、草花や虫を見つける時の注意が書かれている。 <p>「いきものとなかよし」(上巻 p51-59)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やくそく」コーナーに虫を見つける時の注意が書かれている。(スズメバチ等) <p>「たのしいあきいっぱい」(上巻 p60-70)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やくそく」コーナーに、秋を見つける時の注意が書かれている。(ツタウルシ等) ・「やくそく」コーナーに、公園で遊ぶ時の注意が書かれている。 <p>「ふゆをたのしもう」(上巻 p90-100)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やくそく」コーナーに、冬を見つける時の注意が書かれている。 ・「やくそく」コーナーに、公園で遊ぶ時の注意が書かれている。(防災について) <p>「春だ今日から2年生」(下巻 p1-8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まちのあんぜん」1 ページに渡って道路標識や避難場所や子ども 110 番などの写真が取り上げられ、何をあらわしているのか、何のためにあるのかを考えさせるようになっている。 <p>「どきどきわくわくまちたんけん」(下巻 p21-32)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やくそく」コーナーに、町探検をする時の注意が書かれている。 ・「やってみよう」前単元で学習した道路標識等を町探検で探してみようという学習活動が組まれている。 ・「ちがいをさがそう」二つの絵が上下に並べられており、まちがっていることをしている人を見つけることで、安全やきまりを守って生活するにはどうすればよいか考

	<p>えさせるようになっている。</p> <p>「みんなでつかうまちのしせつ」(下巻 p57-68)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やくそく」コーナーで、図書館での注意することが書かれている。 ・「まちのくふう」で、安全に関する町の工夫を見つけ、何を表しているかについて考えさせるようにしている。 <p>「もつとなかよしまちたんけん」(下巻 p69-76)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やくそく」コーナーで、町探検に行くときに気をつけることを考えさせるようにしている。 ・「自分のことをふりかえろう」生活のきまりや安全について、1年間を振り返り、できるようになったことを確かめることができるようになっている。 ・全単元を通して、活動後の手洗い・うがいを奨励している。 ・巻末の「べんりてちょう」に、安全・健康についてまとめている。 <p>【使用実績に関すること】</p> <p>□どの単元も右上に「やくそく」のコーナーが設定されており、活動の際には、そのイラストを参考に、ルールやきまりを自分たちで考えることができた。</p>
大日本	<p>「みんななかよし」(上巻 p2-35)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターの吹き出しに校庭で遊ぶ時のやくそくが書かれている。 ・挨拶についてふれている。 ・「みんなにまもられているんだね」安全を守ってくれている人・もの(110番の家ステッカー等)・場所について書かれている。 ・「みんなのこうえん」遊び方のきまりやごみを捨てる時のきまりについて書かれている。 ・『「あぶない!」じぶんをまもるために」不審者に会ったとき、地震のとき等、自分で自分を守る方法について考えさせるようになっている。 <p>「春はっけん」(下巻 p2-29)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あそびのやくそく」コーナーで、気を付けることが書かれている。 ・「たんけん名人を目ざせ」町探検で気を付けなければならないこと(安全・きまりについて)をまとめている。 ・グループで町探検に行く時の約束が書かれている。 ・各単元の中で手洗いについてふれている。 ・巻末の「学習のどうぐばこ」で道具の安全な使い方やバスに乗る時のきまり等を示している。
学図	<p>「1ねんせいになったよ」(上巻 p1-27)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あんぜんのページ」学校の行き帰りにどんなことに気を付けてあるいたらよいか、標識等はなんのためにあるのかを考えさせるようにしている。 ・あいさつをすることや静かに歩くことについてふれている。 <p>「あそびにいこうよ」(上巻 p48-83)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ちゅうい」のコーナーがあり、雨の日、水で遊ぶ時、遊んだ後の手洗い・うがいについて書かれている。

	<p>「いきものだいすき」(上巻 p84-95)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ちゅうい」のコーナーがあり、生き物を触った後の手洗いについて書いている。 <p>「町のすてきはっ見」(下巻 p2-37)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ものしりノート」のコーナーがあり、電車やバスの乗り方について書いている。 ・「何のしるしかな」道路標識が示してあり、町探検で見つけた標識について何のためにあるのかを調べさせるようにしている。 <p>「生きものと友だち」(下巻 p58-75)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ちゅうい」のコーナーがあり、生き物を触った後の手洗いについて書いている。 <p>「作ってあそぼう」(下巻 p76-95)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ちゅうい」のコーナーがあり、おもちゃを動かす時や道具を使う時に気を付けることが書かれている。 ・巻末の「学び方図かん」で、安全についてのページがある。雷・大雨・地震・火事などの身の守り方について書いている。 ・道具の安全な使い方について書いている。
<p>教出</p>	<p>「わくわくどきどきしょうがっこう」(上巻 p2-31)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校探検をする時に気を付けることが「ろうかは$\text{㊦}$$\text{㊧}$$\text{㊨}$」に書かれている。児童が覚えやすいように工夫している。 ㊦・はしらない ㊧・さわがない ㊨・みぎをあるく <ul style="list-style-type: none"> ・「たんけんのときには」のコーナーがあり、学校や公園を探検する時のきまりが書かれている。 ・「のはらでは」のコーナーがあり、学校や公園を探検する時のきまりが書かれている。(春・夏・秋の公園) <p>「なかよくなるうね 小さなともだち」(上巻 p58-65)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「うさぎをだくときは」のコーナーがあり、うさぎを抱く時の注意を書いている。 <p>「まちが大すき たんけんたい」(下巻 p16-35)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まちのくふうをさがそう」町探検をして、安心して暮らせる工夫を探す活動を仕組んでいる。 <p>「作ってためして」(下巻 p70-83)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「作っているときは」のコーナーがあり、おもちゃを作っているときにけがをしないための注意を書いている。 ・各單元の中に「地球となかよし」のコーナーがあり、自然を守ることにについてふれている。巻末の「ぐんぐんポケット」にも地球となかよしを掲載している。 ・巻末の「ぐんぐんポケット」で安全な道具の使い方と防災について書いている。 ・各單元で「手洗い」についてふれている。
<p>光村</p>	<p>「みんなであそぼう はる なつ あき ふゆ」(上巻 p44~77)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こうえんはみんなのぼしょだよ。」3枚の絵からどんなことに気を付けて公園を利用すればよいかを児童に考えさせるようにしている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・！マーク「どうぐをつかうときは、きをつけよう。」で道具を使う時の注意が書かれている。 <p>「大すきいっぱいわたしのまち」(下巻 p8~27)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・！マーク「そとをあるくときは気をつけよう。」で、交通安全について書かれている。 ・「いってみよう、つかってみよう」図書館に行って、公共の場での利用のきまりを学習する活動が設定されている。みんなが使う物や使う場所について5枚の絵からどんなことに気を付ければよいか児童に考えさせるようにしている。 <p>「あそんでためしてくふうして」(下巻 p62~81)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・！マーク「どうぐをつかうときは、気をつけよう。」で、きりや段ボールカッターを使う時に気を付けることにふれている。 ・「あとかたづけもみんなでしょう。」後片付けの仕方が絵と言葉で書かれている。 ・きまりについては右頁下に必要に応じて記載されている。 ・「！」マークで安全や手洗いについて示されている。 ・町探検の単元で交通安全について示されている。
啓林館	<p>「いちねんせいになったよ」(上巻 p2-11)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あんぜんにきをつけてかえられるかな」下校時の安全についてふれている。不審者にあった時の注意についてもふれている。 <p>「がっこうともだち」(上巻 p12-27)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やめてね」「あぶない」絵で示してあり、絵から考えさせるようにしている。 <p>「さあみんなですでかけよう」(上巻 p42-49)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こんなときどうしよう」3枚の絵が示してあり、公園で遊ぶときのきまりを絵から考えさせるようにしている。 ・「あぶない」スズメバチ・チャドクガの幼虫の写真を載せている。 <p>「だいすきなつ」(上巻 p50-59)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あぶない」川に近づかないことと雨の日に気を付けることを書いている。 ・「あぶない」夏休みに気を付けなければならない生活のきまりを書いている。 ・「できるかな」夏休みの一日の生活を振り返り、自己評価するようになっている。 <p>「いきものとなかよし」(上巻 p60-69)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やめてね」動物と触れ合う時に注意することが書かれている。 <p>「ひろがれえがお」(上巻 p70-79)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「できるかな」一日の生活を振り返り、自分でできるか自己評価するようになっている。 <p>「たのしもう あき」(上巻 p80-93)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こんなときどうしよう」2枚の絵が示してあり、公園で遊ぶ時のきまりを絵から考えさせるようにしている。 ・「あぶない」ぎんなん、ツタウルシ、マムシの写真を載せている。

	<p>「レッツゴー町たんけん」(下巻 p20-35)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あぶない」「こんなときどうしよう」4枚の絵が示しており、町探検をする時に気を付けることを絵から考えさせるようにしている。 ・「できるかな」お店に町探検に行った時の挨拶について振り返り、自己評価するようになっている。 <p>「つくろう あそぼう くふうしよう」(下巻 p36-49)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あぶない」2枚の絵が示しており、はさみやカッターを使う時に注意することを考えさせるようにしている。 ・「気をつけよう」4枚の絵が示しており、夏休みの生活で気を付けることを考えさせるようにしている。(不審者、交通事故、熱中症、台風) <p>「みんな生きている」(下巻 p50-61)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あぶない」スズメバチ、ムカデ、ヘビの写真を載せている。 ・「こんなときどうしよう」4枚の絵が示しており、生きものを飼う時に気を付けることが書かれている。 <p>「もっと行きたいな町たんけん」(下巻 p62-85)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災についての気づきが書かれている。 ・「さむい日も元気にすごそう」冬休みの一日を振り返り、自己評価するようになっている。 ・巻末の「わくわくずかん」で道具の使い方や交通安全、不審者対応等について書かれている。 ・手洗いについては、各単元でふれている。
<p>日文</p>	<p>「いちねんせいになったら」(上巻 p2-7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その1～その7まで生活面のきまりや登下校の安全について書かれている。 <p>「はじまり はじまり がっこうたんけん」(上巻 p18-33)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「たんけんのしかた」探検する時に注意することが書かれている。 ・消火器や非常口・AEDなど安全に関係することを取り上げている。 <p>「さむさの中でげんきいっぱい」(上巻 p88-103)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「さんぼのやくそく」さんぼをする時に注意することが12の項目で書かれている。 <p>「発見町へとび出そう」(上巻 p2-19)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町探検をする時に「きをつけること」という視点を与えて、危ない場所を見付けるようにしている。 ・「やくそく」で町探検に行く時の約束について書かれている。 ・巻末「なんでもずかん」に防災のことや用具の安全な使い方について載せている。 ・「やくそく」コーナーに生活のきまりについて示されている。

【生活】

視 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑤興味・関心を高めるための工夫
方 法	○上巻最初の単元の導入ページの内容

発行者	調査・研究内容
東書	<p>「すたあとぶつく」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1ページの口絵 <ul style="list-style-type: none"> ・2名の男女が通学路に立っている交通安全推進隊に笑顔で挨拶をしている。 ・児童はランドセルに防犯ベルを付けている。 ○ 「すたあとぶつく」として1ページ左下に、保護者に向けてのガイダンスが特設されている。 ○ 他のページよりも紙の縦幅が短くなっている。 ○ 児童の字で右上部に横書きで「どきどきわくわく1ねんせい」の記載。 <p>【使用実績に関すること】</p> <p>□「すたあとぶつく」では、学校の様子や学習の様子をいきいきとした児童の写真で紹介しており、入学して間もない児童たちも幼児期の教育からスムーズに小学校の学習につなげていくことができた。</p>
大日本	<p>「みんななかよし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページのイラスト <ul style="list-style-type: none"> ・登校中の児童生徒に地域の住民が手を振ったりほほえんだりしている。 ・高学年とともに登校する1年生や他の児童を学校の校門で教師が笑顔で迎えている。 ○ 2ページ分の紙面には、笑顔で登校中の子ども（小1が4名、上級生2名）、犬を散歩させている女性、校門前で児童を出迎える校長先生と先生、交通安全推進員の男性、地域のお店の店員3名、男女の高校生、通勤中の女性がイラストで示されている。 ○ 左ページ下に横書きで「しょうがっこうせいかつのスタートだ！」の記載。
学図	<p>「がっこうたんけん」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページのイラスト <ul style="list-style-type: none"> ・学校の敷地内を登校する子ども達やたくさんの児童がいる教室、校庭の様子を描いたイラスト。 ・2ページ分の紙面には、校舎に続く道の風景。100名以上の児童がイラストで描かれている。その中には、車いすの児童や髪や肌の色が異なる児童の姿、昆虫や鶏、ヤギなどの動物たちの姿も示されている。 ○ 両面折り込みのページ。中央が少し短い装丁になっている。 ○ 左ページ中段に横書きで「1ねんせいになったよ」の記載。
教出	<p>「わくわくどきどき しょうがっこう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページの写真 <ul style="list-style-type: none"> ・校庭でランドセルを背負った8名の1年生の大きな写真。

	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式当日の様子や掲示板、教室の様子が5枚の小さい写真で示されている。 ・「がっこうがたのしみだね。」という吹き出しのついた5名の児童の写真が左下に掲載されている。「入学式の看板近くに立つ笑顔の1年生男女の写真」、「先生に名札を着けてもらっている女子1名」、「嬉しそうな表情をして話を聞いている女子1名」、「『おめでとう』の桜の花の掲示」、「輪飾りと花で飾り付けられた1年教室の掲示」の5枚である。 ・「みんなが いれば ぜんぶが たのしい」の記載。 ○ 左上上部に横書きで「わくわくどきどきしょうがっこう」の記載。
光村	<p>「きょうから いちねんせい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページのイラスト ・2ページ分の紙面には中心にショートケーキののった皿を持つ女の先生、周りには花を眺めている女子、犬といっしょに寝ている男子、座って読書をしている男子、ソフトクリームを食べている男子、ぬいぐるみを抱えている女子等21名の子どもが好きなものを持ったり好きな遊びをしていたりするイラストが示されている。 ○ 「すきな ものを いって みて すきな たべものは なに」「すきな どうぶつは なに」「すきな あそびは なに」の記載。 ○ 左上上部に「きょうから いちねんせい」の記載。
啓林館	<p>「いちねんせいになつたよ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページのイラスト ・中央に満開の桜と校舎を背景に中心に大きくガッツポーズで跳び跳ねる男子、手を広げている女の子が笑顔で描かれている。その周りに学校生活や行事が4つの小さなイラストで示されている。「授業中挙手している男女」、「遠足でのお弁当を食べている男女4名」、「運動会で玉入れをしている男女6名」、「水泳をしている男女」である。 ・キャラクターが4つ描かれており、右上部のパンダのキャラクターが「いえの ひとにも みて もらおう。」と吹き出しで言っている。 ○ 左端に「いちねんせいになつたよ」と縦書きの記載。
日文	<p>「(さいしょのいっぽ) いちねんせいになつたら」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページのイラストと一部写真 ・春の花に囲まれた中心にボールを持った男子1名と女子1名がいる。その後ろから先生を先頭にランドセルを背負った1年生男女5名が歩いている。右ページには先生と学習している男女2名がいる。 ・キャラクター(児童のイラスト)とそのモデルの写真と氏名が提示されている。 ・p3上部に教師に向けての一言があり、スタートカリキュラムの意図や横断的な教科書の使用法についての記載がある。 ・目次があり16ページにわたり、スタートカリキュラムの説明があることが示されている。 ○ 左上上部に横書きで「さいしょのいっぽ いちねんせいになつたら」の記載。

【生活】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑥振り返り表現するための工夫
方 法	○栽培単位におけるワークシートの例示

発行者	調査・研究内容
東書	<p>「きれいにさいてね」上巻 p23-33 ワークシート数 5枚 ワークシート p25 「たねをまいたよ」 p27 「みつけたよ」(あさがおがたいへんです。) p29 (あさがおのつぼみ) p31 (あさがおのたね)「あさがおだいへんしん」(4枚の絵本) p50 「なつやすみのことをつたえよう」</p> <p>○ はじめは罫線なし→罫線が2→3→4と増えていく。発達段階に合わせたものとなっている。文章や書き方の説明はなく、表現方法として絵や文・動作なども薦めている。子供の文字や表現に近いワークシートである。色鉛筆と鉛筆による表現。 ○ 絵本では、押し花や写真など様々な形式の観察図が見られる。 ○ 「みつけたよ」の形式で副題を書き込むワークシートの形になっている。 ○ p50では、あさがおの花の観察図が絵の具で描かれている。</p> <p>「大きくなあれ わたしの 野さい」下巻 p9-20 ワークシート数 6枚 ワークシート p11 「お知らせします」ミニトマトのなえをうえました。 p13 「お知らせします」わきめつみをしました。 p15 「お知らせします」ミニトマトがたくさんできました。 「お知らせします」ナスのみができました。 p16, 17 「ミニトマトぐんぐん絵本」「キュウリのせい長ニュース」 p97 「キュウリとわたしのぐんぐん新聞」</p> <p>○ 上巻と同じように「お知らせします」の形式で副題を子供が書き込むワークシートの形になっている。ワークシートは絵と罫線が5本。 ○ p16, 17では、成長記録を大きく取り上げたページになっている。上巻の絵本形式以外に個人の新聞形式も取り入れて紹介している。作った絵本を使って伝えたり振り返ったりするページになっており、ワークシートの活用法を示している。</p> <p>【使用実績に関すること】</p> <p><input type="checkbox"/> ワークシートの例があるページに、子供の自然なつぶやきが吹き出しでたくさん示してあり、児童の振り返りの仕方の参考になった。 <input type="checkbox"/> ワークシートの形式が児童の発達段階に合わせたものになっており、指導者も参考にすることができた。 <input type="checkbox"/> ワークシートを活用した絵本づくりや、絵、文、動きなどで表現して伝える例が示されており、児童の意欲を引き出すことができた。</p>

大日本	<p>「はなや やさいをそだてよう」 上巻 p2-25, p38-41, p60-65 ワークシート数 7枚</p> <p>ワークシート p23 「(あさがお) につき」 2枚目 p25 「(あさがお) につき」 4枚目 p39 「(あさがお) につき」 8枚目 p41 「(だいず) につき」 8枚目 p61 「(あさがお) につき」 14枚目 p63 「(らっかせい) につき」 12枚目 p65 「イチゴのなえ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アサガオの成長に合わせて教科書が構成されている。 ○ 初めは罫線2本(2枚) → 4本である。画材は色鉛筆のみ。 ○ p25には支柱によって隠れた部分を描いていない観察図が示されている。 ○ 14枚目まで観察図がある。 ○ 「につき」の形式で育てる植物を書き込むワークシートの形になっている。 <p>「花や やさいを そだてよう」下巻 p16-21 ワークシート数 2枚</p> <p>ワークシート p16 「まっ赤なイチゴができたよ」 p17 「わたしのえんどうまめ」 p43 「(キュウリ) につき」 8枚目 「やさい名人 さえきさんへ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上巻からの続きの単元になっている。 ○ 生活科2年間の単元の流れを意識した教科書配列になっている。 ○ 指導してくれた「やさい名人」へお礼の手紙を書いている。
学図	<p>「わたしの あさがお」上巻 p28-47 ワークシート数 12枚</p> <p>ワークシート p31, p33, p35, p36, p37 (2名), p39, p41 「あさがおにつき」 p41 「さいたはなのかず」 p45, 46 「あさがおにつき」 (2名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元のページ数、ワークシートの例示の数が多い。 ○ ワークシートは絵と罫線が4本 ○ ワークシートとそれを書いたキャラクターが連動している。全てのワークシートの中にキャラクター本人(観察している自分)が描かれている。対象そのものを観察するというより、自分とのつながりを意識させている。反面、対象の絵は小さくなっている。 ○ p36, 37は前ページのワークシートを基に、ワークシートの書き方を大きく取り上げ説明している。 ○ 花の数をドット(○)を塗る形式で数えるカードが示されており、算数科との関連が意識されている。 ○ 最後の日記は、友達への感謝や次の学年への思いが書かれたものになっている。 <p>「わたしたちの 野さいばたけ」下巻 p38-55 ワークシート数 7枚</p> <p>ワークシート p41 「野さい 日記」なえからそだてるよ。 p42, 43 「野さい 日記」元気なミニトマトのなえを見つけたよ。 p46 「野さい 日記」ふっかふっかの土にしたよ。 →1行書いていない行がある。 p49 「野さい 日記」がんばれ、てんとう虫</p>

	<p>p51 「野さい 日記」 ミニトマトが 赤くなってきたよ。 →自分が書かれていない (大きく実だけ)</p> <p>p53 「野さい 日記」 23 こもミニトマトがとれたよ。 →自分が書かれていない (トマトが 23 個)</p> <p>p54, 55 実際に絵本を作った子どもたちの作品と、それを持つ子どもたちとカルタの写真の掲載。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシートは絵と罫線が 7 本。 ○ P42, 43 では、1 年次と同じように書き方の例が大きく提示されている。副題を付けることを勧めている。他の人と何をしたのかを書くことを勧めている。「はじめに」「でも」「だから」を上手に使用することを紹介している。ワークシートの例示の仕方は 1 年次とほぼ同じ。
<p>教出</p>	<p>「きれいに さいてね わたしの はな」上巻 p32-47 ワークシート数 6 枚 ワークシート p35 「きれいにさいてね」たねをまいたよ p37 「きれいにさいてね」めがでたよ p39 「きれいにさいてね」しちゅうをたてたよ p41 「きれいにさいてね」はなが さいたよ p42 「きれいにさいてね」あさがおさんありがとう p43 「わたしのあさがお」 5まいをつないで本にしてある写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシートは、初め罫線が 2 本 (2 枚) → 4 本 ○ 画材は全てクレヨンである。対象を大きくとらえた絵である。最後の 1 枚だけは自分とアサガオが描かれている。 ○ ワークシートが大きく掲載されている。文字は書写ノートの文字のように整った文字で書かれている。 ○ 副題を付ける形式になっている。 ○ ワークシートの下に、教師の言葉のようなコメントが青字で書かれている。 ○ p43 は前ページまでのワークシートをひもを通して、表紙を付けた簡単な絵本が示されている。 <p>「めざせ 野さい作り名人」下巻 p7-15 ワークシート数 5 枚</p> <p>ワークシート p7 「おいしい野さいに なあれ」ミニトマトのなえを うえたよ p9 「おいしい野さいに なあれ」ミニトマトの花がさいたよ p11 「おいしい野さいに なあれ」ミニトマトがたくさんとれたよ 「おいしい野さいに なあれ」サツマイモをとったよ p12 「ミニトマト日記」 前ページまでのワークシートをテープでとめて、蛇腹折りの本にした写真 P13 「野さい新聞」 記事に加え写真、グラフ、表を入れて作った新聞の写真 p97 記ろくしよう 「おいしい野さいになあれ」土をふかふかにしたよ p101 はっぴょうしよう これまでのワークシートを利用した発表の方法がいくつか紹介されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上巻とは異なり、画材が色鉛筆になった。 ○ ワークシートの下に、教師のコメントが青字で書かれている。 ○ 発見ヒントがワークシートの横にある。(においや、ものさしの活用など)

	<p>○ p13では、野菜新聞を紹介。グラフや表も掲載され算数科との関連も図っている。1名で作るのではなく、3名で作ることにより、協働的な活動や交流が行われることも意図されている。</p>
光村	<p>「おおきく なあれ わたしのはな」上巻 p26-43 ワークシート数 9枚 ワークシート p29 ワークシートに題が無い あさがお (子どもの字) p31 はやくめをだしてね。(子どもの字) p33 罫線なし (あさがおの双葉) p34 罫線4行 (あさがおの本葉) (観察カードが既に蛇腹になってとじられている。) p35 (あさがおのつる) p36 (あさがおの花) p38 (あさがおのたね 観察カード) p37 アサガオの花の数の記録カード (花の汁を使って手紙を書いた写真が掲載されている。) p39 種を渡す袋や葉書の例が示されている。</p> <p>○ ワークシートは、初め罫線なし (2枚) → 4本 題をつけさせることはなく、絵をかく感覚で観察図を書いている。文字も初めはとて大きく示されている。</p> <p>○ 画材が、初めはクレヨンで最後は色鉛筆に移っている。</p> <p>○ 特設でまとめのページを示すのではなく、綴じ方を工夫して最後に本になるような例示がある。</p> <p>「ぐんぐん そだて」下巻 P28-45 ワークシート数 8枚 ワークシート p30, 31 「なにをそだてようかな」 p35 わださんへのお手紙 p36 やさいの けんこうかんさつ ナナホシテントウがきた (罫線なしカード) P37 わきめつみ P38 ミニトマトがとれた P39 えだまめをたべたよ わださん ありがとう (お礼カードの寄せ書き)</p> <p>○ p30, 31 に育てたいものをイメージしたカードが示されている。p33には、そのカードをラミネート加工し、植木鉢にさしてある写真が掲載されている。</p> <p>○ p35には困ったことに対して質問状を書く例が示されており、絵はないが、継続的な取組の例示と言える。トピックスとして野菜ニュースが示され、野菜そのものの観察図ではなく、野菜に来る生き物や和田さんとの交流などの記録が例示されている。</p> <p>○ 画材は色鉛筆。</p> <p>○ 野菜そのものの観察図は、ほとんど示されておらず、関わる生き物やGTなどについてメモ的に示されている。罫線はなく、自由に書くことができるようになっている。ワークシート (カード) の大きさは各社の中で最も小さい。</p>
啓林館	<p>「ひとつぶの たねから」上巻 p28-41 ワークシート数 8枚 ワークシート p31 「せんせい あのね」種の絵 文章2行罫線なし p33 「せんせい あのね」双葉の絵 文章3行罫線なし p34 (ひまわりさいたよ) カード 罫線3行 ヒマワリの花だけの観察カード p34 いくつ花が咲いたかな (花の数を塗るカード)</p>

	<p>p35 はなのひみつ はっけん (花) p37 みのひみつ はっけん (実と種) p38, 39 これまでのカードをそのまま並べ、表紙を付けて本にしたものの写真。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシートは、初めは罫線なし (2枚) → 3本 → 5本 ○ 画材は色鉛筆。 ○ 特設でまとめのページを示すのではなく、綴じ方を工夫して最後に本になるような例示がある。 ○ 4枚目のカードの上部に「みた、きいた、におった、さわった、おもった」というマーク (五感マーク) と言葉が示してあり、それを塗ることでワークシートに書く内容を意識することができるようになっている。 <p>「おいしい 野さいを そだてよう」下巻 p6-19 ワークシート数 5枚</p> <p>ワークシート p9 「ミニトマトをうえました」カード 罫線5行 (2行は記入なし) p11 「はっぱのひみつ」はっけん 五感マークあり p12 「ミニトマトのへんしん」はっけん トマトの実だけ p15 「いもほりしました」カード p16, 17 「わたしのミニトマト」カードと発見をつないで蛇腹にし、振り返ることができるような例示がある。 p17 「みんなよろこんでくれました」カード</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生からの書き方を踏襲した構成になっている。 ○ 1年生は本にし、2年生はつなげて広げるまとめ方になっている。 ○ カードを広げながらグループで話し合っている絵があり、カードの活用例が示されている。 ○ 絵は、部分のみ大きく書かれたものが示され、苗の絵以外では、全体を書き込んだものはない。画材は色鉛筆で色を重ねて塗っている。
<p>日文</p>	<p>「さかせて みたい な はな いっぱい」上巻 p34-51 ワークシート数 11枚</p> <p>ワークシート p38 「よく みて みよう」種の絵 虫眼鏡のワークシート 絵と、本物の種がセロハンテープで貼ってある。 p39 「おおきなあれ」罫線 (破線) 4本 友達と水をやっている絵 p41 「にこにこかあど」 (黄色の用紙) 双葉の写真が貼ってある。 p42 「おおきなあれ」双葉と本葉の絵 p45 「こまったよカード」 (ピンクの用紙) からまったアサガオの絵 p47 「なりきり かあど」「(わたし) の (あさがお) につき」 祖父母への手紙 p48 「たね たね とれたね」 (種を実際にならべたカード) p49 種を渡す袋に来年の1年生へのメッセージが書いてある。 p50 「ふりかえり かあど」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシートの児童名は ばらばらである。 ○ ワークシートは、初め罫線なし (1枚) → 4本 ○ 画材は色鉛筆。ワークシートの種類が多く、書き方もさまざまである。 ○ p47 「なりきり かあど」アサガオの気持ちになって子どもがアサガオからの手紙を書くことにより、自分の成長を振り返ることができる例示がある。

- 「(わたし)の(あさがお)につき」絵の中に子どもが様々な気付きを書き込み、罫線にも気付きを書いている。矢印で絵に添えて気が付いたことが書かれている。
- p48「たね たね とれたね」たねをならべたカードは細い所に10個ずつ並んでいる。
- まとめのページでは、クリアファイルにこれまでの記録を挟んだものを基に話をしている様子が示されている。まとめて綴る形式で本のようにしてある。

「大きく そだて みんなの 野さい」下巻 p20-39 ワークシート数 13枚

ワークシート p24 「(はたけ) ニュース」カード 罫線5行
 p27 「はっ見」(うねづくりのひみつ)
 p28 「(大きくなったよ ミニトマト) ニュース」青いミニトマト
 「おいもちゃんのおせわ」ニュース
 「つながってる！」ニュース
 「鳥よけネット」ニュース
 p29 「どんどんみができるよ」ニュース
 p31 「しつもんカード」
 p32 「ためしぼり」ニュース
 p37 「大きくなあれ！」(2枚)「ふりかえりカード」
 「ミニトマトができたよ。」(4コマ漫画)

- p26-28 3種類の野菜を織り込み4ページで観察しているワークシートが掲載されている。
- p31 質問カードに付箋を使って答える形式になっている。困った時にどうするかの方法を示したページに掲載されている。
- p32 ワークシートに教師のコメントが書き込まれているものがある。
- p37「大きくなあれ！」のページはクリアファイルにまとめた状態のものを示している。目(見る)手(触る)鼻(臭い)マークが書かれ、さまざまな観点について、長く気付きを書いたものになっている。
- ワークシートの枚数が最も多く、書き方も様々なものが例示されている。

【生活】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑦単元・題材や資料等の配列や分量
方 法	○単元名および総ページ数, 上下巻の構成

発行者	調査・研究内容	
東書	<p>【上巻】 (総頁数 117)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「すたあとぶっく」 1 ページ ○「がっこうだいすき」 21 ページ ○「きれいにさいてね」 11 ページ ○「なつだあそぼう」 17 ページ ○「いきものとなかよし」 9 ページ ○「たのしいあきいっぱい」 11 ページ ○「つくろうあそぼう」 8 ページ ○「じぶんでできるよ」 11 ページ ○「ふゆをたのしもう」 11 ページ ○「もうすぐ2ねんせい」 10 ページ べんりてちょう 7 ページ (ポケットずかん 8 ページ) 	<p>【下巻】 (総頁数 121)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「春だ今日から2年生」 8 ページ ○「大きくなあれわたしの野さい」 12 ページ ○「どきどきわくわくまちたんけん」 12 ページ ○「生きものなかよし大作せん」 11 ページ ・夏のくらし 3 ページ ○「うごくうごくわたしのおもちや」 10 ページ ○「みんなでつかうまちのしせつ」 12 ページ ○「もつとなかよしまちたんけん」 8 ページ ○「つたわる広がるわたしの生活」 9 ページ ・冬のくらし 5 ページ ○「あしたへジャンプ」 12 ページ べんりてちょう 19 ページ
	<p>○ 上巻 10, 下巻 9 の単元で構成されている。各単元は、上・下巻ともに、四季を感じながら学習ができるよう、季節にそって構成されている。下巻には、公共物や公共施設などと直接かかわる活動や体験を、まちたんけんの単元とは別に「みんなでつかうまちのしせつ」という大単元として設定してある。</p>	
	<p>【総頁数】 上巻 117, 下巻 121</p> <p>【単元数】 上巻 10, 下巻 9 の単元で構成されており、季節や児童の発達段階に配慮して、配列されている。</p>	

大日本	<p>【上巻】 (総頁数 133)</p> <ul style="list-style-type: none"> もくじ 1 ページ ○「みんななかよし」 32 ページ <ul style="list-style-type: none"> がくしゅうどうぐばこ 2 ページ ○「なつとなかよし」 14 ページ ○「あきとなかよし」 34 ページ <ul style="list-style-type: none"> がくしゅうどうぐばこ 2 ページ ○「ふゆとなかよし」 28 ページ <ul style="list-style-type: none"> がくしゅうどうぐばこ 4 ページ がくしゅうどうぐばこ 16 ページ 	<p>【下巻】 (総頁数 129)</p> <ul style="list-style-type: none"> もくじ 1 ページ ○「春はっけん」 24 ページ <ul style="list-style-type: none"> がくしゅうどうぐばこ 2 ページ がくしゅうどうぐばこ 2 ページ ○「生きものはっけん」 20 ページ <ul style="list-style-type: none"> がくしゅうどうぐばこ 2 ページ ○「わたしの町はっけん」 22 ページ <ul style="list-style-type: none"> がくしゅうどうぐばこ 2 ページ ○「はっけんくふうおもちゃ作り」 10 ページ <ul style="list-style-type: none"> がくしゅうどうぐばこ 2 ページ ○「自分はっけん」 24 ページ <ul style="list-style-type: none"> がくしゅうどうぐばこ 18 ページ
	<p>○ 上巻 4, 下巻 5 の単元で季節に沿って構成されている。各単元は, 上巻では「なかよし」をキーワードに, 下巻では「はっけん」をキーワードにまとめられている。「栽培」においては, 2年間にわたって連続した単元として, 設定してある。</p>	
	<p>【総頁数】 上巻 133, 下巻 129</p> <p>【単元数】 上巻 4, 下巻 5 の単元で季節に沿って構成されている。また, 単元の終わりに, それぞれの単元の活動に関連した「がくしゅうどうぐばこ」を設けてある。</p>	
学図	<p>【上巻】 (総頁数 132)</p> <ul style="list-style-type: none"> もくじ 1 ページ ○「がっこうたんけん」 26 ページ ○「わたしのあさがお」 20 ページ ○「あそびにいこうよ」 36 ページ ○「いきものだいすき」 12 ページ ○「ありがとうがいっぱい」 20 ページ <ul style="list-style-type: none"> 学びかたずかん 17 ページ 	<p>【下巻】 (総頁数 128)</p> <ul style="list-style-type: none"> もくじ 1 ページ ○「町のすてき大はっ見」 36 ページ ○「わたしたちの野さいばたけ」 18 ページ ○「生きものと友だち」 20 ページ ○「作ってあそぼう」 20 ページ ○「わたし大すきみんな大すき」 16 ページ <ul style="list-style-type: none"> 学びかたずかん 17 ページ
	<p>○ 上巻 5, 下巻 5 の単元で構成されている。各単元は, 「探検・栽培・飼育・遊び・成長」のまとまりで構成されている。上巻では「学校・家庭」, 下巻では「身近な地域」へと活動や体験の場が広がるように配列してある。また, 内容も上巻では, 「自然を利用した遊び」から, 下巻では, 「身近な物を使って動くおもちゃ作り」というように高まっている。</p>	
	<p>【総頁数】 上巻 132, 下巻 128</p> <p>【単元数】 上巻 5, 下巻 5 の単元で構成されている。各単元は「探検・栽培・飼育・遊び・成長」のまとまりで構成されている。</p>	

教出	【上巻】 (総頁数 120) もくじ 1 ページ ○「わくわくどきどき しょうがっこう」 30 ページ ○「きれいにさいてね わたしのはな」 16 ページ ○「なつともだちになろう」 10 ページ ○「なかよくなろうね 小さなともだち」 8 ページ ○「あきともだちになろう」 14 ページ ○「かぞくにこにこ大きくせん」 10 ページ ○「ふゆともだちになろう」 10 ページ ○「まっすぐ2年生」 9 ページ ぐんぐんポケット 10 ページ せいかつかノート 2 ページ	【下巻】 (総頁数 114) もくじ 1 ページ ○「わくわくするね 2年生」 2 ページ ○「めざせ野さい作り名人」 12 ページ ○「まちが大すきたんけんたい」 20 ページ ○「めざせ生きものはかせ」 14 ページ ○「えがおのひみつ たんけんたい」 20 ページ ○「作ってためして」 14 ページ ○「あしたへダッシュ」 9 ページ ぐんぐんポケット 20 ページ 生活科ノート 2 ページ
	○ 上巻 8, 下巻 7 の単元で構成されている。各単元は、上・下巻ともに、動植物の飼育栽培・自然や物を使った遊びなど活動のまとまりごとに構成されている。また、児童の発達段階に応じて、「学校・家庭」から「身近な地域」へと活動や体験の場が広がるように配列されている。	
	【総頁数】 上巻 120, 下巻 114 【単元数】 上巻 8, 下巻 7 の単元で構成されている。動植物の飼育栽培・自然や物を使った遊びなど、活動のまとまりごとに配列されている。児童の発達段階に応じて、活動の場が学校・家庭から地域へと広がる。	
光村	【上巻】 (総頁数 119) もくじ 3 ページ ○「きょうからいちねんせい」 4 ページ ○「なかよしいっぱい だいさくせん」 18 ページ ○「おおきなあれ わたしのはな」 18 ページ ○「みんなであそぼう はるなつあきふゆ」 28 ページ ○「いきものとなかよし」 12 ページ ○「みんなのこにこ だいさくせん」 12 ページ ○「もうすぐみんな にねんせい」 12 ページ きせつのおくりもの 12 ページ	【下巻】 (総頁数 103) もくじ 3 ページ ○「きょうから2年生」 4 ページ ○「大すきいっぱい わたしのまち」 20 ページ ○「ぐんぐんそだて」 18 ページ ○「小さななかまたち」 16 ページ ○「あそんでためして くふうして」 20 ページ ○「ひろがれわたし」 14 ページ きせつのおくりもの 8 ページ

	<p>○ 上巻 7, 下巻 6 の単元で構成されている。各単元は, 上・下巻ともに, 動植物の飼育栽培・自然や物を使った遊びなど活動のまとめりごとに構成されている。また, いずれの単元も「ホップ (導入)・ステップ (展開)・ジャンプ (伝え合い)」の 3 段階で配列されている。</p>																																													
	<p>【総頁数】 上巻 119, 下巻 103</p> <p>【単元数】 上巻 7, 下巻 6 の単元で構成されている。動植物の飼育・栽培や自然や物を使った遊びなど, 活動のまとめりごとになっている。</p>																																													
啓林館	<p>【上巻】 (総頁数 133)</p> <table border="0"> <tr><td>もくじ</td><td>1 ページ</td></tr> <tr><td>○「いちねんせいになったよ」</td><td>10 ページ</td></tr> <tr><td>○「がっこうとともだち」</td><td>16 ページ</td></tr> <tr><td>○「ひとつぶのたねから」</td><td>14 ページ</td></tr> <tr><td>○「さあみんなのでかけよう」</td><td>8 ページ</td></tr> <tr><td>○「だいすきななつ」</td><td>10 ページ</td></tr> <tr><td>○「生きものとなかよし」</td><td>10 ページ</td></tr> <tr><td>○「ひろがれえがお」</td><td>10 ページ</td></tr> <tr><td>○「たのしもうあき」</td><td>14 ページ</td></tr> <tr><td>○「たのしさ見つけたよふゆ」</td><td>10 ページ</td></tr> <tr><td>○「もうすぐ 2 年生」</td><td>12 ページ</td></tr> <tr><td>わくわくずかん</td><td>18 ページ</td></tr> </table>	もくじ	1 ページ	○「いちねんせいになったよ」	10 ページ	○「がっこうとともだち」	16 ページ	○「ひとつぶのたねから」	14 ページ	○「さあみんなのでかけよう」	8 ページ	○「だいすきななつ」	10 ページ	○「生きものとなかよし」	10 ページ	○「ひろがれえがお」	10 ページ	○「たのしもうあき」	14 ページ	○「たのしさ見つけたよふゆ」	10 ページ	○「もうすぐ 2 年生」	12 ページ	わくわくずかん	18 ページ	<p>【下巻】 (総頁数 125)</p> <table border="0"> <tr><td>もくじ</td><td>1 ページ</td></tr> <tr><td>○「わくわくするね 2 年生」</td><td>4 ページ</td></tr> <tr><td>○「おいしい野さいを そだてよう」</td><td>14 ページ</td></tr> <tr><td>○「レッツゴー町たんけん」</td><td>16 ページ</td></tr> <tr><td>○「つくろうあそぼう くふうしよう」</td><td>14 ページ</td></tr> <tr><td>○「みんな生きている」</td><td>12 ページ</td></tr> <tr><td>○「もっと行きたいな 町たんけん」</td><td>16 ページ</td></tr> <tr><td>○「つたえ合おう町のすてき」</td><td>8 ページ</td></tr> <tr><td>○「これまでのわたし これからのわたし」</td><td>15 ページ</td></tr> <tr><td>いきいきずかん</td><td>25 ページ</td></tr> </table>	もくじ	1 ページ	○「わくわくするね 2 年生」	4 ページ	○「おいしい野さいを そだてよう」	14 ページ	○「レッツゴー町たんけん」	16 ページ	○「つくろうあそぼう くふうしよう」	14 ページ	○「みんな生きている」	12 ページ	○「もっと行きたいな 町たんけん」	16 ページ	○「つたえ合おう町のすてき」	8 ページ	○「これまでのわたし これからのわたし」	15 ページ	いきいきずかん	25 ページ
もくじ	1 ページ																																													
○「いちねんせいになったよ」	10 ページ																																													
○「がっこうとともだち」	16 ページ																																													
○「ひとつぶのたねから」	14 ページ																																													
○「さあみんなのでかけよう」	8 ページ																																													
○「だいすきななつ」	10 ページ																																													
○「生きものとなかよし」	10 ページ																																													
○「ひろがれえがお」	10 ページ																																													
○「たのしもうあき」	14 ページ																																													
○「たのしさ見つけたよふゆ」	10 ページ																																													
○「もうすぐ 2 年生」	12 ページ																																													
わくわくずかん	18 ページ																																													
もくじ	1 ページ																																													
○「わくわくするね 2 年生」	4 ページ																																													
○「おいしい野さいを そだてよう」	14 ページ																																													
○「レッツゴー町たんけん」	16 ページ																																													
○「つくろうあそぼう くふうしよう」	14 ページ																																													
○「みんな生きている」	12 ページ																																													
○「もっと行きたいな 町たんけん」	16 ページ																																													
○「つたえ合おう町のすてき」	8 ページ																																													
○「これまでのわたし これからのわたし」	15 ページ																																													
いきいきずかん	25 ページ																																													
	<p>○ 上巻 10, 下巻 8 の単元で構成されている。各単元は, 上・下巻とも, 動植物の変化や季節にそって構成されている。上巻の「自然のものを使った遊び」から下巻の「身近な物を使ったおもちゃ作り」へと, 活動内容が高まるように配列されている。下巻では, 2 回にわたって町を探検して気付いたことを伝え合うための活動を単元として設定してある。</p>																																													
	<p>【総頁数】 上巻 133, 下巻 125</p> <p>【単元数】 上巻 10, 下巻 8 の単元で構成されている。各単元は, 上・下巻とも, 動植物の変化や季節にそって構成されている。また, 校外活動の参考になる「せいかつたんけんブック」(49 ページ) が別冊となっている。</p>																																													

日文	<p>【上巻】 (総頁数 138)</p> <ul style="list-style-type: none"> もくじ 1 ページ ○「いちねんせいになったら」 16 ページ ○「はじまりはじまり がっこうたんけん」 16 ページ ○「さかせてみたいな はないっばい」 18 ページ ○「きせつともだち みなさんこんにちは」 18 ページ ○「なつやすみがやってくる」 4 ページ ○「きせつともだち いろやかたち たくさんみつけた」 14 ページ ○「きせつともだち さむさの中でげんきいっばい」 16 ページ ○「いっしょにいるとあんしん」 8 ページ ○「大きくなったね1年かん」 10 ページ なんでもずかん 17 ページ 	<p>【下巻】 (総頁数 132)</p> <ul style="list-style-type: none"> もくじ 1 ページ ○「発見! 町へとび出そう」 18 ページ ○「大きくそだて みんなの野さい」 20 ページ ○「生きものといっしょに」 26 ページ ○「夏休みにしたいことは」 8 ページ ○「あそびのたつ人あつまれ」 22 ページ ○「わたしのすてきのはばたく」 20 ページ なんでもずかん 17 ページ
	<p>○ 上巻9, 下巻6の単元で構成されている。各単元は, 上・下巻ともに, 動植物の飼育・栽培, 自然や物を使った遊びなど活動のまとまりごとに構成されている。また, 「伝え合い」を主とした単元を上・下巻ともに, 夏休み前後に設定してある。その他, 活動や体験の場が上巻から下巻へと広がり高まるように配列してある。</p>	
	<p>【総頁数】 上巻138, 下巻132</p> <p>【単元数】 上巻9, 下巻6の単元で構成されている。人との交流, 探検, 飼育・栽培などの活動のまとまりごとになっている。</p>	

【生活】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑧本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト等の活用
方 法	○キャラクター，マークの工夫

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 太陽をイメージしたキャラクター「たいちゃん」を使用。目次ページから登場している。吹き出しはオレンジ色に統一されている。 ○ 関連するページを知らせる風のキャラクターも登場する。 ○ 巻末の「べんりてちょう」を参考にするようページを示す鉛筆とノートの絵のピンク色のマーク、「ぼけつとずかん」を参考にするようテントウムシの絵の緑色のマークがある。どれも記載場所が、見開き右側のページの右上に統一されている。 ○ 手洗い・うがいを促すマーク、危険な昆虫や植物の写真には、黄色い三角形の「ちゅうい！」のマークがついている。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○ ウサギ、パンダ、サルのキャラクターを使用。裏表紙で紹介している。活動や気づきを促す言葉、大切なことの確認や意欲づけの言葉、活動中の注意事項などが吹き出しに書かれている。発展的内容を紹介するカバのキャラクターもある。 ○ 見開き2ページで構成された活動のめあてを、右側ページの右上の桜の葉の中に書いている。葉は春夏秋冬の4種類あり、学習を進めながら季節の移り変わりを感じられる。 ○ 子どもの横顔の絵でオレンジ色のマークの「せいかつことば」で、活動内容と関連して色の名前や雪の名前、雨の降り方を表す言葉などを紹介している。
学図	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターではなく、男女4人の子どもたちのイラストを活用している。子どもの視点で4人がつぶやいた言葉が、気づきや活動意欲へつながるようにしている。 ○ 巻末の「学びかたずかん」を参考にするよう示している紫色のノートのマークや「ものしりノート」の参考ページを示している水色の鉛筆のマークがある。 ○ 安全面の注意は、黄色い枠内に書かれ、「ちゅうい」という文字で強調している。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ぐんぐん」という動物のキャラクターを使用。目次ページから登場している。活動や思考を促す言葉がけや活動の際の注意をしている。吹き出しは、オレンジ色に統一されている。 ○ 学習を振り返る場面ではカエルのキャラクターが使用されており、単元のめあての確認や振り返りの観点を示している。 ○ 巻末の「ぐんぐんポケット」の参考ページを示すポケットに数字を書いたマークや、他の教科との関連を示すマーク、最終ページの「せいかつかノート」にメモするよう示した鉛筆のマークなどがある。どれも、目次ページにマークの見方が説明されている。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「はっけんヒント」のコーナーで、観察する視点は水色の枠で囲んであるが、安全面、衛生面、マナー面等の注意はオレンジ色の太枠で囲んでいる。 ○ 「地球となかよし」のマークは自然や環境の大切さを伝える場面で使用している。 ○ 「はってん」のマークは、理科などにつながる発展的内容を示している。 ○ 「おうちでチャレンジ」のマークは、学んだことを家庭で話すことなどを勧めており、復習や家族とのふれあいの機会をつくることにつながっている。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターは特に使用していない。 ○ 安全面、衛生面、マナー面等の注意は、黄色い枠内にイラストと短い文で注意事項が書かれており、「！」(きをつけよう)のマークがついている。 ○ 「どうすれば～できるかな。」と投げかけるコーナーがあり、4コマの枠に3つは手がかりがイラストと文で示されているが、残りの1つの枠を「？」マークを入れ自分で考えさせるようにしている。 ○ 単元名に「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」のマークが書いてあり、導入の話し合い、活動、伝え合いの段階が示されている。 ○ 「うたをうたおう」(音符マーク) ○ 「もっとやってみたい」のコーナーは、発展学習のヒントになっている。 ○ 「きせつのおくりもの」のコーナーは、身の回りに目を向けさせている。
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ○ パンダ、サル、鳥の3つの動物のキャラクターを使用し、目次ページから登場している。活動や思考を促す言葉がけや活動する際の注意をしている。吹き出しは、オレンジ色に統一されている。 ○ 「わくわくずかん」「たんけんブック」のマークで巻末や別冊の関連ページを示している。 ○ 「あぶない」「やめてね」マークで安全面の注意をイラストと写真入りで示している。活動後の手洗いを促すマークがある。 ○ 「ちゃれんじ」マークで発展的な活動を紹介している。 ○ 「こんなときどうしよう」のコーナーではイラストや文で場面を紹介しており、自然や人との関わりや公共の場での行動の仕方など、児童が自分たちで解決方法を考えたり話し合ったりすることができるようにしている。
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ カワウソのような2匹の動物のキャラクターを使用しており、活動や思考を促す言葉がけや活動する際の注意をしている。吹き出しはピンク、オレンジ、黄緑などに白抜き文字で表示されている。 ○ 青いクレヨンにページ数を書いたマークで、巻末の「なんでもずかん」の関連ページを示している。 ○ 手と「！」マークを書いた赤い吹き出しマークで危険な昆虫の写真を示している。 ○ ノートと鉛筆のマークを、考えたり調べたりする課題や方法を提示するコーナーに使用している。 ○ 登場人物の写真に対応するイラストのキャラクターを使用している。 ○ 教科書全体にイラストを多用している。

【生活】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑨コミュニケーション活動を通じた他者との情報交流の設定
方 法	○伝え合う活動の例示

発行者	調査・研究内容
東書	<p>「どきどき わくわく まちたんけん」下巻P21-32</p> <p>○ まちたんけんの計画→まちたんけんに行こう→見つけたことを教え合おう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見つけたものの絵をたんけんマップに貼りながら友だちに知らせたり、家の人に話したりしている。 <p>「もっと なかよし まちたんけん」下巻P69-76</p> <p>○ もっと知りたい→もういちどたんけんに行こう→なかよくなった人のことをしようかいしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の人に焦点を当て、パソコン機器等で紹介し合っている。 <p>「つたわる 広がる わたしの生活」下巻P77-85</p> <p>○ 町のすてきを伝えたい→何をだれに伝えようかな→どんな伝え方にしようかな→もっとくわしく調べよう→どうやって調べようかな→まちにつたえに行こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話、ファックス、インターネットなどの方法で、知りたくなったことをさらに調べている。 ・ポスター、新聞、パンフレットなど、グループごとに手段を考え、地域に発信している。 ・交流した地域の人からもらったファックスを提示している。
大日本	<p>「はる はっけん～春の町ではっけん～」下巻P22-29</p> <p>○ 通学ろにはどんな春があるかな→見つけたよ、こんな人、こんなところ→はっけんしたことを教えてあげる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たんけんマップに貼りながら、友だちと伝え合っている。 ・見つけたものを掲示しておき、もっと知りたいことを見つけ次の活動に生かす工夫をしている。 <p>「わたしの町 はっけん」下巻P54-75</p> <p>○ たくさんあるよ 町の大すき→みんなでたしかめに行きたいね</p> <ul style="list-style-type: none"> →町はっけんにしゅっぱつ→みんなのはっけんをあつめよう →みんなに教えてあげよう →町の人につたえたい ・ゆか地図にしようかいカードを置き、それをもとにたんけんコースを決める。 ・まずは、クイズ、ポスター、紙芝居、地図を用いて、友だち同士で伝え合う活動を仕組んでいる。次に地域発信へと進めている。 ・「町のたから」という概念をベースにして、基礎的な調べ活動や表現活動を仕組んでいる。 ・絵地図の作り方を特設ページに示している。

学図	<p>「町のすてき 大はっ見」下巻P2-37</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ わたしの町のおすすめ→行ってみようよ（計画を立てよう） <ul style="list-style-type: none"> →のりものによってみたいな→たんけんに出ばつ →たくさんのすてきを見つけたよ（町たんけん1） ・見つけたものを絵カードに表し、クイズなどで伝え合っている。 ○ もっと知りたい→だれに何を聞こうかな（電話で連絡をとる） <ul style="list-style-type: none"> →インタビューする→みんなに伝えたいね（町たんけん2） ・グループごとに町新聞を作り、地域の人を招いて発表会を開いている。 ・お礼の手紙を書くように促している。
教出	<p>「まちが大すき たんけんたい」下巻P16-35</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ まちについて話そう→たんけん計画を立てよう→たんけんに出かけよう <ul style="list-style-type: none"> →まちのくふうをさがそう→はっ見をつたえ合おう ・たんけんカードを地図に置きながら、友だちと交流している。 ・各地の祭りや町の自慢（名所）等の写真を掲載している。（四季ごとに） <p>「えがおのひみつ たんけんたい」下巻P50-67</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前のたんけんを思い出そう→れんらくしてから行こう（電話・郵便・ファックス） <ul style="list-style-type: none"> →インタビューしよう→しごとにチャレンジしよう→みんなにつたえよう →まちの人にもつたえよう→えがおいっぱいほっぴょう会をしよう ・体験したことや分かったことなどを、地図や新聞などにまとめている。 ・発表コーナーを設けて、クイズや紙芝居などで交流している。 ・「ありがとうをつたえよう」と締めくくり、自分たちにできることを例示している。 ・地域の人を身近に感じる工夫「あこがれのえがお あこがれのしごと」がある。 ・巻末「ぐんぐんポケット」の中で、調べる・まとめる・発表する・伝える方法を解説している。
光村	<p>「大すき いっぱい わたしのまち」下巻P8-27</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ おしえて、まちのお気に入り→みんなでたんけん、みんなではっけん <ul style="list-style-type: none"> →もっとたんけん、もっとはっけん→たんけんたいのけいかくを立てよう →みんなにもおしえてあげたいな ・たんけんカードを地図に貼って、ペアやクラス全体で交流している。 ・作成したポスターやお礼の手紙を持って町に出かけ、地域の人に伝え合っている。

<p>啓林館</p>	<p>「レッツゴー 町たんけん」下巻P20-31</p> <p>○ 町にはどんなところがあるのかな→町たんけんのじゅんぴをしよう →町たんけんにいこう→町の人にインタビューをしよう →見つけた町のすてきをつたえ合おう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行ってみたい場所や聞いてみたいことを、隣の人と対話する活動を仕組んでいる。 ・紹介の仕方(写真・ペープサート・クイズ)を、絵で例示している。 <p>「もっといきたいな 町たんけん」下巻P62-73</p> <p>○ 秋の町をたんけんしよう→もっといろいろ話そう→どんなはっ見があったかな →おれいの気もちをつたえよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春と秋でちがうところを見つける活動を、取り入れている。 ・発見したことをカードにかき、地図に示しながら交流している。 ・「おれいの気もちをつたえよう」の活動に進め、お店のポスターやお礼の手紙が例示してある。 ・秋と冬でちがうところを見つける活動を、取り入れている。 <p>「つたえ合おう 町のすてき」下巻P78-85</p> <p>○ 町たんけんをふりかえろう→町のすてきをまとめよう →町のすてきをつたえ合おう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめ方の例示がある。 ・発表コーナーを設け、地域の人を招いて発表会を開いている。 ・幼稚園や保育所の子どもたちに伝える活動を例示している。
<p>日文</p>	<p>「発見! 町へとび出そう」下巻P2-19</p> <p>○ ふしぎがいっぱい 楽しさいっぱい(町のすてきなところを出し合う) →見たい 聞きたい たくさんあるよ(計画を立てるこつ) →グループでたんけんだ→チャレンジしよう→こんなところに行ったよ →町のじまんはっぴょう会→ありがとうをつたえ合おう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町に出かけて気付いたことを地図に貼りながら友だちと交流し、それを基に探検計画を立てている。 ・グループごとに分かったことをまとめ、地域の人を招待して発表会を開いている。 ・「ありがとうをつたえ合おう」の活動に進み、ポスターやお礼の手紙を持って地域の人に伝え合う活動をしている。 ・交流した地域の人からもらった手紙を提示している。

平成30年7月3日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 音楽

代表者 呉市立三坂地小学校

氏名 森重真由美

呉市教科用図書調査・研究報告書について(報告)

このことについては、別添のとおりです。

【音楽】

観点	基礎・基本の定着
視点	①題材の目標の示し方
方法	目標の表記の仕方及び目標達成のための支援

発行者	調査・研究内容																								
教出	<p>【題材の表記の仕方】</p> <p>○ 題材は短い言葉でまとめて表示している。(目次及び各紙面右上に表示)</p> <p>《記載例》</p> <table border="1"> <tr><td>1年</td><td>おんがくにあわせて</td></tr> <tr><td>2年</td><td>歌でよびかけっこ</td></tr> <tr><td>3年</td><td>すてきな声で</td></tr> <tr><td>4年</td><td>ひびけ歌声</td></tr> <tr><td>5年</td><td>音の重なりとひびき</td></tr> <tr><td>6年</td><td>音の重なりとひびき</td></tr> </table> <p>○ 題材の目標は、活動で示している。(目次：題材名の下に表記)</p> <p>○ 【共通事項】に着目させながら「～楽しもう。」「～しよう。」のように呼びかける形で表記されている。</p> <p>○ 「楽しむこと」「感じ取らせること」を重視している。</p> <p>《記載例》</p> <table border="1"> <tr><td>1年</td><td>はくのながれにのって、リズムであそぼう。</td></tr> <tr><td>2年</td><td>強さなどをくふうして、歌のまねっこやよびかけっこを楽しもう。</td></tr> <tr><td>3年</td><td>くり返すリズムやせんりつを、重ねて楽しもう。</td></tr> <tr><td>4年</td><td>いろいろなひょうしの、はくの流れを感じ取ろう。</td></tr> <tr><td>5年</td><td>低音や和音のはたらきを感じ取って演そうしよう。</td></tr> <tr><td>6年</td><td>せん律やひびきの変化をとらえて演奏しよう。</td></tr> </table>	1年	おんがくにあわせて	2年	歌でよびかけっこ	3年	すてきな声で	4年	ひびけ歌声	5年	音の重なりとひびき	6年	音の重なりとひびき	1年	はくのながれにのって、リズムであそぼう。	2年	強さなどをくふうして、歌のまねっこやよびかけっこを楽しもう。	3年	くり返すリズムやせんりつを、重ねて楽しもう。	4年	いろいろなひょうしの、はくの流れを感じ取ろう。	5年	低音や和音のはたらきを感じ取って演そうしよう。	6年	せん律やひびきの変化をとらえて演奏しよう。
	1年	おんがくにあわせて																							
2年	歌でよびかけっこ																								
3年	すてきな声で																								
4年	ひびけ歌声																								
5年	音の重なりとひびき																								
6年	音の重なりとひびき																								
1年	はくのながれにのって、リズムであそぼう。																								
2年	強さなどをくふうして、歌のまねっこやよびかけっこを楽しもう。																								
3年	くり返すリズムやせんりつを、重ねて楽しもう。																								
4年	いろいろなひょうしの、はくの流れを感じ取ろう。																								
5年	低音や和音のはたらきを感じ取って演そうしよう。																								
6年	せん律やひびきの変化をとらえて演奏しよう。																								

【目標達成のための支援】

- 学習のねらいを、教材ごとに示している。(各紙面左上に色つき太字で表記)
- 紙面の左上に色遣いを変えて大きく太字で表記している。着目させたい言葉は、色を変え、更に大きな字で表記している。

《記載例》

1年	うたにあわせてみぶりであそぼう	p.14
2年	山びこっこであそぼう	p. 8
3年	歌しやせんりつに合った声や歌い方を見つけよう	p. 4
4年	きき合いながら楽しく歌おう	p.12
5年	和音や低音のはたらきを感じ取って演そうしよう	p.14
6年	せん律やひびきの変化をとらえて演奏しよう	p.12

- 活動のポイントとして示されているものもある。(てんとう虫マーク)

《記載例》

1年	うたにあわせてリズムをうったり、てあわせをしたりしよう。	p.17
2年	足ぶみや手びょうしなどをかえても楽しいよ。	p.25
3年	ウの強さをくふうして、きき合いながら歌おう。	p.11
4年	それぞれの曲のみりよくを感じてきこう。	p.15
5年	せんりつを演そうする楽器が変わっていくおもしろさを、感じ取ってきこう。	p.23
6年	せん律や、ばん奏のひびきのもつふん囲気を感じ取って歌おう。	p.37

教出

- 各題材名の下に【共通事項】を「音楽のもと」として示すとともに、巻末に『「音楽のもと』まとめ』として示している。
- 題材は、主要部分【題材群1（基礎）と題材群2（活用）】、オプション部分で構成している。

【題材の表記の仕方】

- 題材名が活動で表示されている。(目次及び題材の始まるのページ左に縦書きで表示)
- 題材に通し番号が付いている。

《記載例》

1年	うたでなかよしになろう
2年	うたでともだちのわをひろげよう
3年	明るい歌声をひびかせよう
4年	明るい歌声をひびかせよう
5年	ゆたかな歌声をひびかせよう
6年	豊かな歌声をひびかせよう

- 題材の目標は、題材ごとに、目指す姿として「・・・が・・・できるかな」と問いかけるように示している。(目次：題材名の下に表記)

1年	ともだちといっしょになかよくうたったりあそんだりすることができるかな。
2年	みんなといっしょになかよくうたったりあそんだりして、たくさんのともだちができるかな。
3年	楽譜の読み方をおぼえて、歌詞や階名で歌ったり楽器をひいたりすることができるかな。
4年	歌声に気をつけて、楽譜を見ながら歌詞や階名で歌ったりきいたりすることができるかな。
5年	曲の感じや、歌詞にこめられた気持ちを感じ取って、歌声に気をつけながら歌うことができるかな。
6年	曲想や、歌詞にこめられた気持ちを感じ取って、歌声に気をつけながら歌うことができるかな。

教芸

【目標達成のための支援】

- 学習目標として、何をどうするか教材ごとに示されている。
(各紙面左上に太字で表記。色は基本黒色。)

《記載例》

1年	ともだちといっしょになかよくうたいましょう。	p.6
2年	3びょうしをかんじながらうたいましょう。	p.14
3年	歌に合わせてリコーダーをふきましょう。	p.20
4年	5つの音で、おはやしのせんりつをつくりましょう。	p.48
5年	和音の移り変わりを感じながら合唱しましょう。	p.24
6年	歌声が重なり合うひびきを感じながら合唱しましょう。	p.22

- 教材ごとの活動例を【共通事項】に着目させながら記述している。

1年	うたうまえにかしをよんで、ようすをおもいうかべましょう。	p.42
2年	このきょくには2つのせんりつが出てきます。せんりつがかわるところに気をつけてききましょう。	p.13
3年	音の高さのちがいに気をつけながら、歌詞や階名で歌いましょう。	p.8
4年	日本のせんりつのおよさを味わいながら歌いましょう。	p.46
5年	曲想が変化するところに気をつけてききましょう。	p.26
6年	強さや速さに注目して、曲想にふさわしい表現を工夫しましょう。	p.32

教芸

【使用実績に関すること】

題材名から具体的に何をしたらよいかはつきりと分かり、ねらいをしっかりと捉え、学習を進めることができた。また、教材ごとの活動例が【共通事項】に着目して記述してあったので、指導者の経験年数を問わず、指導ポイントを明確にして授業を進めることができた。

【音楽】

観点	基礎・基本の定着
視点	②歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫
方法	発声のポイント及び歌唱共通教材の扱い

発行者	調査・研究内容					
教出	【発声のポイント】					
	○ 「歌声」のコーナーを3学年から設け、具体的に説明している。					
	3年	「体の力をぬく」「のどの奥を開く」		絵と写真	p.43	
	4年	「歌声とリズムのトレーニング」「言葉をはっきり」		スキルアップ	p.6	
		「声を遠くに届ける」「ひびきの声」		写真	p.13	
	5年	「歌声とリズムのトレーニング」「変声期」		スキルアップ	p.6	
		「腹式」		絵	p.11	
	6年	「歌声とリズムのトレーニング」「音の長さ、発音」		スキルアップ	p.6	
	【歌唱共通教材の扱い】					
	○ 歌唱共通教材の一部は、「こぼんのはな みんなのはな」として掲載している。					
	○ 大きな写真による情景描写があるものもある。(1, 2年生は見開き2ページ, 3年生以上は見開き3ページ)					
	○ 歌についての説明がある。					
	○ 縦書きの歌詞を付けている。					
	○ 取扱い順					
		1年	2年	3年	4年	5年
	ひらいたひらいた	かくれんぼ	春の小川	さくらさくら	こいのぼり	おぼろ月夜
	かたつむり	虫のこえ	茶つみ	まきばの朝	子もり歌	われは海の子
	うみ	夕やけこやけ	うさぎ	とんび	冬げしき	越天楽今様
	ひのまる	春がきた	ふじ山	もみじ	スキーの歌	ふるさと
○ 歌唱の形						
4年	「まきばの朝」		斉唱	p.22~p.23		
	「もみじ」		二部合唱	p.34		
5年	「冬げしき」		二部合唱	p.39		
	「スキーの歌」		部分二部合唱	p.43		
6年	「おぼろ月夜」		斉唱	p.10		
	「ふるさと」		二部合唱	p.41		
○ ページをまたいで大きな写真での情景描写がある。						
3年	「ふじ山」		p.40~p.41			
4年	「さくらさくら」		p.8~p.9			
5年	「こいのぼり」		p.8~p.9			
6年	「おぼろ月夜」		p.8~p.9			

【発声のポイント】

○ 「うたごえ」のコーナーを全学年に設け、ワンポイントとして説明している。

1年	「口, 笑顔」	写真	p.19
2年	「姿勢, 表情」	写真	p.22
3年	「ひびき」	絵	p.30
4年	「のどの奥」 歌声①	絵	p.9
	「腹式, 発音」 歌声②	絵	p.25
5年	「声の調子」 歌声①	絵	p.9
	「変声期」 歌声②		p.24
6年	「ひびき」	絵	p.9

○ さらに, 6年においては, 「思いを伝える表情の写真」を p.2~p.3, p.5に掲載。

【歌唱共通教材の扱い】

- 各学年「こころのうた」として季節に応じて位置付けている。
- 様子を表す絵や写真が掲載されている。
- 歌についての説明がある。
- 縦書きの歌詞を付けている。
- 取扱い順

1年	2年	3年	4年	5年	6年
ひらいたひ らいた	かくれんぼ	春の小川	まきばの朝	こいのぼり	おぼろ月夜
かたつむり	虫のこえ	茶つみ	とんび	冬げしき	われは海の子
うみ	夕やけこや け	うさぎ	もみじ	スキーの歌	ふるさと
ひのまる	はるがきた	ふじ山	さくらさく ら	子もり歌	越天楽今様

○歌唱の形

4年	「まきばの朝」	部分二部合唱	p.18
	「もみじ」	二部合唱	p.34~p.35
5年	「冬げしき」	二部合唱	p.36
	「スキーの歌」	部分二部合唱	p.38
6年	「おぼろ月夜」	二部合唱	p.10
	「ふるさと」	三部合唱	p.38

- ・ 合唱曲としての扱いが多く, 重なり合う美しさやひびきでその曲の美しさを味わえるようになっている。

【使用実績に関すること】

1年生の段階から発声のポイントが示してあり, 系統的に指導することができた。また, 歌い方のポイントがイラストと短い言葉で具体的に示してあり, 児童は, 歌声のイメージをもって響かせることができた。

教芸

【音楽】

観点	基礎・基本の定着
視点	③器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫
方法	鍵盤ハーモニカやリコーダーの扱い

発行者	調査・研究内容
教出	<p>鍵盤ハーモニカの扱いについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 楽器の演奏の仕方を図や写真を用いて示してある。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 座ってホース使用と吹き口を使い立って演奏している写真の併用。(1年 P30~34) ・ ほぼ実物大の楽器の写真が多い。(1年 P32, 33 P34, 35 P36, 37) ・ 上記の写真を使って、音の名称と鍵盤の位置、高さ、指番号が連動して示されている部分がある。 ・ ド→ドレミ→ドレミファソ と順を追って演奏の仕方を身に付けさせる。 ○ 息の入れ方について言葉で説明している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ おとをながくのぼしたり、みじかくきったりしてみよう。(p30) ・ 「とうーとうーとうー」とおはなしするかんじでいきをふきこもう。(p32) ○ 2年生「かえるのがっしょう」(p20~21) <ul style="list-style-type: none"> ・ 写真と言葉でひき方を説明している。 ・ 5線譜に階名と指番号がかいてある。 <p>リコーダーの導入として</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ リコーダーの紹介を写真と言葉でしている。(3年 P16~17) <ul style="list-style-type: none"> ・ ソプラニーノ, ソプラノ, アルト, テノール, バス ・ ふき口以外にも、頭部かん, ウインドウ, 中部かん, 足部かん, うらあな等の名称を示している。 ○ 構え方や姿勢を写真と言葉で説明している。(3年 P18~19) <ul style="list-style-type: none"> ・ ふくときの息を「大きなシャボン玉を作るときのように息をまっすぐに」とし、絵でその様子を示している。 ・ タンギングについて言葉で説明している。 ・ タンギングは「トゥー」という言葉とテープ図を区切った形で示している。 ・ 演奏の仕方を写真で多方面から撮り、示している。 ・ 高い音をきれいに響かせるためには、「ティ」と発音する感じにするという表現がある。(4年 p24) ○ 発達段階を考慮したステップが踏まれている。(3年 p18~23, p28~29, p50~51,) ○ 学習する音の順序 <ul style="list-style-type: none"> 3年 シ→ラ→ソ→ド→レ→ファ→ミ→レ (ニ) 4年 ミ→#ソ→ド

鍵盤ハーモニカの扱いについて

- 楽器の演奏の仕方を絵や写真を用いて示してある。
 - ・ 座ってホースを使用。立って演奏する写真は巻末で紹介程度。(1年 P28, 74)
 - ・ ドソ→ドレミ→ドレミファソ と順を追って演奏の仕方を身に付けさせる。
- 構え方や息の入れ方について図と言葉で説明している。
 - ・ はでかまずに、くちびるでかるくはさむようにしましょう。(1年 P28)
 - ・ いろいろな音の例として「ながくのばすおと・みじかくきるおと」を棒状の図とともに提示している。(1年 P29)
 - ・ 指番号について絵で示している。(1年 P35)
- 2年生「かえるのがっしょう」(P20~21)
 - ・ 絵と言葉でひき方を説明している。
 - ・ 音の高さを表すミとソを表す譜面に階名と指番号がかいてある。

リコーダーの導入として

- 巻頭の音楽プリズムで写真を使い、リコーダーやリコーダーの仲間の紹介をしている。(3年 P2~3)
- 演奏の仕方を写真と言葉で説明している。(3年 P16~17)
 - ・ 「かまえ方」「あなのとじ方」「音の出し方」と小見出しを付け説明している。
 - ・ 構え方や姿勢、穴の閉じ方を写真と言葉で説明している。また息の入れ方については絵や言葉で説明している。
 - ・ 「あなのとじ方」について、「指のはら」の説明の写真がある。
 - ・ タンギングは、「トゥ」という言葉とテープ図に線を入れる形で示している。また、簡単な練習曲の楽譜の下に、「トゥ」の言葉とテープ図を示している。
 - ・ 演奏の仕方を多方面から撮り、示している。
 - ・ 高い音(ミ、ファ、ソ)のタンギングは「ティ」で表現している。(4年 P33)
- 発達段階を考慮したステップが踏まれている。(P17~23, P34~35, P42~43)
- 学習する音の順序

教芸

3年 シ→ラ→ソ→ド→レ→ファ→ミ→レ→ド (ハ)

4年 ミ→ファ→ソ

【音楽】

観点	基礎・基本の定着
視点	④我が国の音楽に関する内容の扱い
方法	学年ごとの鑑賞曲，器楽表現として扱う和楽器

発行者	調査・研究内容																																			
教出	<p>学年ごとの鑑賞曲について</p> <p>○ 低学年の鑑賞教材は，歌遊びや音楽づくりの表現活動と連動するように構成されている。3年生以上は，関連する諸外国の音楽とともに扱う構成となっている。</p>																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>曲種</th> <th>曲名</th> <th>関連曲等</th> <th>ページ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>わらべ歌</td> <td>わらべうた～うちのうらのくろねこが・げんこつやまのためきさん・たけのこめだした</td> <td>うたあそび</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>お囃子</td> <td>日本のたいこ～さんさおどりのたいこ・つがるじょっぱりだいこ・ごじんじょだいこ・はちじょうだいこ</td> <td>音のスケッチ 「おまつりの音楽をつくろう」音楽づくり</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>わらべ歌</td> <td>十五夜さんのもちつき</td> <td>日本や世界の子ども の歌～陽気なかじや・半月（バンダル）・キパパーキ パパパ・あつい豆がゆ</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>お囃子</td> <td>葛西ばやし</td> <td>サムルノリ（韓国）サンバの音楽（ブラジル）</td> <td>40～41</td> </tr> <tr> <td>5年</td> <td>民謡</td> <td>会津磐梯山（福島県） 音戸の舟歌（広島県） 長唄「越後獅子」から 京の夜</td> <td>世界の音楽～バグパイプ・ヨーデル・ブルガリアの合唱・グリオの語りとコラの演そう・ウード・ホーミー・アルプー・ガムラン・ゴスペル・フォルクローレ</td> <td>29 34～35 54～55</td> </tr> <tr> <td>6年</td> <td>箏曲</td> <td>春の海</td> <td>ことにちょう戦 器楽</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table>	学年	曲種	曲名	関連曲等	ページ	1年	わらべ歌	わらべうた～うちのうらのくろねこが・げんこつやまのためきさん・たけのこめだした	うたあそび	13	2年	お囃子	日本のたいこ～さんさおどりのたいこ・つがるじょっぱりだいこ・ごじんじょだいこ・はちじょうだいこ	音のスケッチ 「おまつりの音楽をつくろう」音楽づくり	38	3年	わらべ歌	十五夜さんのもちつき	日本や世界の子ども の歌～陽気なかじや・半月（バンダル）・キパパーキ パパパ・あつい豆がゆ	36	4年	お囃子	葛西ばやし	サムルノリ（韓国）サンバの音楽（ブラジル）	40～41	5年	民謡	会津磐梯山（福島県） 音戸の舟歌（広島県） 長唄「越後獅子」から 京の夜	世界の音楽～バグパイプ・ヨーデル・ブルガリアの合唱・グリオの語りとコラの演そう・ウード・ホーミー・アルプー・ガムラン・ゴスペル・フォルクローレ	29 34～35 54～55	6年	箏曲	春の海	ことにちょう戦 器楽	38
	学年	曲種	曲名	関連曲等	ページ																															
	1年	わらべ歌	わらべうた～うちのうらのくろねこが・げんこつやまのためきさん・たけのこめだした	うたあそび	13																															
	2年	お囃子	日本のたいこ～さんさおどりのたいこ・つがるじょっぱりだいこ・ごじんじょだいこ・はちじょうだいこ	音のスケッチ 「おまつりの音楽をつくろう」音楽づくり	38																															
	3年	わらべ歌	十五夜さんのもちつき	日本や世界の子ども の歌～陽気なかじや・半月（バンダル）・キパパーキ パパパ・あつい豆がゆ	36																															
	4年	お囃子	葛西ばやし	サムルノリ（韓国）サンバの音楽（ブラジル）	40～41																															
	5年	民謡	会津磐梯山（福島県） 音戸の舟歌（広島県） 長唄「越後獅子」から 京の夜	世界の音楽～バグパイプ・ヨーデル・ブルガリアの合唱・グリオの語りとコラの演そう・ウード・ホーミー・アルプー・ガムラン・ゴスペル・フォルクローレ	29 34～35 54～55																															
6年	箏曲	春の海	ことにちょう戦 器楽	38																																
○器楽表現として扱う和楽器																																				
・和太鼓（2年 p39, 4年 p38）しの笛（5年 P54～55）こと（6年 p38～39）																																				

学年ごとの鑑賞曲について

○ 鑑賞教材は、低学年は、歌遊びや音楽づくりと関連付ける構成がされている。4年生以上は、諸外国の音楽と関連付けて扱ったり、日本の音階を使った音楽づくりと関連付けて扱ったりする構成になっている。また発達段階に応じて系統的に題材設定がされている。

学年	曲種	曲名	関連曲等	ページ
1年	わらべ歌	さんちゃんが おおなみこなみ	うたあそび	52～53
2年	わらべ歌	ずいずい ずっこ ろばし あんたがたどこさ	うたあそび 「ばんそうあそび」 音楽づくり	50～51 52～53
3年	お囃子	神田囃子 花輪ばやし 小倉祇園太鼓	「おはやしのせんりつづ くり」 音楽づくり	46～47 48～49
4年	民謡	ソーラン節 南部牛追い歌	トラジ打令（朝鮮半島民 謡） 小さな淡黄色の馬（モンゴ ル民謡） 「こきりこ」歌唱 「おはやしのせんりつづ くり」音楽づくり	44～45 46～49
5年	箏曲	春の海	声による世界の国々の音 楽～ヨーデル・ケチャ・ホ ーミー・ゴスペル 「日本の音階で旋律づく り」音楽づくり	40～41 46～47
6年	雅楽	雅楽「越天楽」から	楽器による世界の国々の 音楽～バグパイプの演 奏・メヘテルハーネ・アル フー・フォルクロレ・ガ ムラン 「越天楽今様」歌唱	41～43

○ 器楽表現として扱う和楽器

- ・ 和太鼓（3年 p49, 4年 p47）こと（5年 p66～67）

【音楽】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤興味・関心を高めるための工夫
方法	多様な音楽活動のための資料及び巻頭と巻末の扱い

発行者	調査・研究内容																				
教出	<ul style="list-style-type: none"> 1～3年生には、透明シートのページが設定されている。このことにより、題材全体のイメージを広げやすくしたり基本的な音符の名称や音の長さや高さ等について繰り返し確認したりできるようになっている。 4年生以上には、教科書中間部分に両開きの折り込みが掲載されている。 4年生…祇園祭の様子、四季折々の日本各地の祭りの様子の写真等 5年生…クラシックコンサートが行われる会館の外観の写真、ステージ上でオーケストラ演奏する写真及びオーケストラで使用される楽器の演奏する姿の写真 6年生…「音楽にできること」と題して、大阪城ホールにて観衆、出演者総数1万人で大合唱するコンサート風景の写真、被災地訪問コンサートや復興コンサートの各種演奏会写真 各領域のオプション部分が充実しており、児童の実態に応じて指導者が選択することができる。 興味をもつような工夫がいろいろな角度から取り上げられている 例) 日本の楽器 ことと尺八の歴史 ことの演奏のしかたや楽譜 																				
	<p>巻頭</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年で巻頭に歌が1曲掲載されており、友だちと声を合わせて歌うなどして、音楽活動の基本となる意欲を養えるようになっている。 <p>《記載曲》</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>1年</td><td>さんぽ</td></tr> <tr><td>2年</td><td>ジェットコースター</td></tr> <tr><td>3年</td><td>小さな世界</td></tr> <tr><td>4年</td><td>はじめの一步</td></tr> <tr><td>5年</td><td>レッツテイクアチャンス</td></tr> <tr><td>6年</td><td>つばさをください</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 4年生以上には、様々なジャンルの音楽家から「〇〇さんからみなさんへ」という音楽にまつわるメッセージと本人が演奏している写真が掲載されている。 <p>《登場する音楽家》</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>4年</td><td>元ちとせ</td><td>歌手</td></tr> <tr><td>5年</td><td>五嶋みどり</td><td>バイオリニスト</td></tr> <tr><td>6年</td><td>辻井伸行</td><td>ピアニスト</td></tr> </table>	1年	さんぽ	2年	ジェットコースター	3年	小さな世界	4年	はじめの一步	5年	レッツテイクアチャンス	6年	つばさをください	4年	元ちとせ	歌手	5年	五嶋みどり	バイオリニスト	6年	辻井伸行
1年	さんぽ																				
2年	ジェットコースター																				
3年	小さな世界																				
4年	はじめの一步																				
5年	レッツテイクアチャンス																				
6年	つばさをください																				
4年	元ちとせ	歌手																			
5年	五嶋みどり	バイオリニスト																			
6年	辻井伸行	ピアニスト																			

- 4年生以上には、歌声とリズムのトレーニングができる「スキルアップ」のコーナーが設けられており、児童の音楽に対する興味を持たせたり、技能を身に付けさせたりできるようになっている。

4年	「早口」早口言葉でラップを楽しもう！！
5年	「花のおくりもの」「クラップフレンズ」 強さを変えてハンドクラップを楽しもう！！
6年	「笑顔でワ・ハ・ハ」 ボディサウンドでリズムアンサンブルを楽しもう！！

- 4年生以上には、巻頭部に歌唱共通教材の一曲が「にっぽんのうたみんなのうた」と題して見開き3ページにわたり、楽曲をイメージさせる写真に縦書きの歌詞を添えて掲載している。

4年	さくらさくら
5年	こいのぼり
6年	おぼろ月夜

巻末

- 国歌君が代が、全学年に、縦書きの歌詞とどのように歌うか説明つきで掲載されている。5年生以上は、「歌詞の大意」も掲載。
楽譜は、1～4年は単旋律のみ。5年から伴奏譜も掲載。

- 全学年に、資料「音楽のもと」まとめとして〔共通事項〕のまとめが掲載されている。このとなりのページには、見開きで1年生は童謡等の「みんなであたおう」のコーナーが、2年生以上は「音楽を表すいろいろな言葉」「音符や休符、記号など」がまとめて掲載されている。

- 全学年見開き4ページにわたり、多彩な資料が掲載されている。

1年	こんにちはハーモニカ	だがっきいろいろ	P70,71
2年	楽き図かん	だ楽きいろいろ	P70,71
3年	楽き図かん(木管楽器・弦楽器)	リコーダー運指表	P72,73
4年	楽器図かん(金管楽器・日本のお祭りの楽器)	リコーダー運指表	P76,77
5年	ステージ図かん(日本の伝統芸能, 吹奏楽, 弦楽合奏, ビッグバンド)	リコーダー運指表	P76,77
6年	「ことと尺八物語」 楽器図かん(日本の楽器と合奏, 三曲合奏, 三味線の歴史, 雅楽, ひちりき)	リコーダー運指表	P76,77

※ 運指表(3～6年)は、演奏ページを開けたまま運指を確かめられるようになっている。

- ・ 全学年最巻末部に、見開き3ページにわたり「にっぽんのうたみんなのうた」として情景を表す写真や絵，作曲者についての説明や写真と共に日本の歌曲が掲載されている。

《記載例》

1年	きせつのうた「たなぼたさま」「たきび」他
2年	しぜんのうた「つき」「とんぼのめがね」他
3年	こころのうた「あの町この町」「七つの子」他
4年	きせつのうた「どこかで春が」「みかんの花さくおか」他
5年	山田耕筰，中田喜直のうた「ペチカ」「ちいさい秋みつけた」他
6年	滝廉太郎のうた「荒城の月」「箱根八里」他

- キャラクター「ダン」が「〇〇してもいいね」と示唆することで意欲や学習の見通しを持たせている。
- 5年生 (P66,67) に、「ことに親しもう」のコーナーが設けてある。箏の爪のつけ方や構え方、「さくらさくら」の楽譜が掲載されている。

巻頭

- 3年生以上の2～3ページに「音楽プリズム」と題して、様々な音楽活動への意欲を喚起するような写真や説明が掲載されている。

《3～6年に掲載されている「音楽プリズム」》

3年	リコーダーのなかま	ようこそリコーダーの世界へ
4年	自然と音	風の音がきこえますか
5年	音の力	メッセージを送る不思議な木
6年	人をつなぐ音楽	音楽で思いを伝えよう

- 3年生以上に「心をつなぐ歌声」と題して歌が1曲掲載されており、友達と一緒に歌うことの楽しさ、思いを伝えることの素晴らしさを感じながら音楽活動を進めていくことへの意欲を喚起している。

3年	友だち
4年	子どもの世界
5年	Believe ビリーヴ
6年	つばさをください

巻末

- 3年生以上に「鑑賞資料」が掲載されている。

3年	金管楽器, 郷土の音楽	P66,67,68,69
4年	木管楽器, 郷土の民謡	P66,67,68,69
5年	弦楽器	P68,69
6年	日本の楽器, オーケストラの主な楽器	P66,67,68,69

- 3年生以上に、70, 71ページにリコーダーの運指表や音符や記号、音階等のまとめが掲載されている。この中に、「ステップアップ (ピンクの★マーク)」として、このマークがついたものも覚えておくと便利です、として中学校での学習につながるものも参考的に掲載している。

- 全学年、72, 73ページに「ふり返りのページ」を掲載している。[共通事項]にかかわることやその学年での学びにかかわる主なものがまとめられている。

- 1, 2年生は、74ページに身近な楽器の持ち方や構え方が、3年生以上は、同ページに「音楽の歴史をつくった人」が写真や肖像画と共に紹介されている。

《3年生以上のP74に登場する音楽家等》

3年	ベートーベン
4年	モーツァルト
5年	山田耕筰, 北原白秋
6年	滝廉太郎

- 国歌君が代は 全学年、75ページに縦書きの歌詞、楽譜と共に掲載。5年生以上は、伴奏譜も掲載されている。

【音楽】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥「音楽づくり」の学習の扱い
方法	「音楽づくり」に関する学習の構成

発行者	調査・研究内容				
教出	※ 表の塗りつぶし部は、「音のスケッチ」と題された音楽づくりの題材部分				
	学年	題名	内容	関連	ページ
	1年	たんとうんでリズムをつくろう	たん・うん 1小節	器楽・鑑賞・歌唱	18, 19
		がっきでおはなし	鍵ハ 2小節 ドレミでおはなし	器楽・歌唱	34, 35
		せんりつづくり	ドレミファソを選んで 4小節	器楽・歌唱	36
		がっきのおとでよびかけっこ	たん・たた・うん 問いと答え	鑑賞	43
		ほしのおんがくをつくらう	鉄琴・鍵ハ 2小節	器楽	55
	2年	ことばのリズムであそぼう	問いと答え	鑑賞・歌唱	17
		ドレミでおはなし	問いと答え 2小節	器楽	19
		どんな音がきこえるかな	音みつけ	鑑賞・器楽	28, 29
		楽器でおはなし	問いと答え リズムや強さをかえて	鑑賞	33
		おまつりの音楽をつくらう	リズム・4小節	鑑賞・歌唱	39
		みんなの音楽時計をつくらう	楽器・組み合わせ	鑑賞	53
	3年	せんりつをつくらう	リコーダー	器楽・鑑賞	28
		よびかけっこで森の音楽をつくらう	旋律のよびかけっこ 打楽器のよびかけっこ 速さ・強さ・始め方・ 終わり方	鑑賞	54, 55
	4年	おはやしのリズムやせんりつで遊ぼう	リズム 音階	鑑賞・歌唱	38
		音の組み合わせや進み方を選んで音楽をつくらう	もとにするリズム 演奏の進み方・楽器選 び	器楽・歌唱	47
		音階から音楽をつくらう	4つの音階	鑑賞・歌唱	52, 53
	5年	沖縄のせんりつであそ	民謡の旋律	鑑賞・歌唱	33

	ぼう			
	いろいろな声で音楽をつくろう	声色 重なり よびかけ		41
	インターロッキングの音楽をつくろう	もとにするリズム 重なり	鑑賞	50, 51
6年	循環コードから音楽をつくろう	循環コード・伴奏	鑑賞・器楽	34, 35
	ドローンをもとに音を組み合わせる音楽をつくろう	重ね方・強弱・速さ	鑑賞	46, 47

- 全学年に、音のスケッチ（表の塗りつぶし部分）として、選択して扱えるオプション部分に音楽づくりが示されている。日本の音楽や世界の音楽、和音、音色など様々な内容があり、思いや意図を生かした音楽表現が期待できる。
- 題材は、少ない曲数・内容で構成されており、焦点化した指導ができる。オプション部分が示されており、児童の実態に応じて様々な活動を仕組むことができる。
- 低学年は、音遊びや身近な楽器を使つての旋律づくりを扱う題材が多い。

学年	題名	内容	関連	ページ
1年	ことばでリズム	たん・うん・たた 1小節 繰り返し・組み合わせ	器楽・鑑賞	24, 25
	ほしぞらのおんがく	楽器をえらんで星空の 音楽を表す	器楽・鑑賞 歌唱	50, 51
	やまびこあそび	声でまねっこ・強さ	器楽・歌唱 鑑賞	57
2年	かえるの音あそび	声で高さをかえる	歌唱・器楽 鑑賞	18, 19
	せんりつあそび	音を選んでせんりつづ くり 2小節	器楽・鑑賞 歌唱	25
	おまつりの音楽	繰り返し・リズムを選 ぶ 4小節	器楽・歌唱	32, 33
	がっきでおはなし	問いと答え・リズムや 強さを変えて	鑑賞・器楽 歌唱	36, 37
	ばんそうあそび	「ミ・ソ・ラ」の音を使 って「なべなべそこ ぬけ」に合う伴奏づく り	鑑賞・歌唱 器楽	53
3年	せんりつづくり	鍵盤楽器で音を選ぶ	歌唱・器楽	13
	手拍子でリズム	リズムづくり タン・タタ 4小節	器楽	26, 27
	まほうの音楽	組み合わせたり重ねた り 音色	歌唱・鑑賞 器楽	40, 41
	ラ・ド・レの音でせんり つづくり	おはやし 2小節	鑑賞	48, 49
4年	せんりつづくり	リコーダーで音を選ぶ	歌唱・器楽	13
	言葉でリズムアンサン ブル	4文字の言葉・8小節	歌唱・器楽 鑑賞	16, 17
	打楽器の音楽	音色・図形カード	鑑賞・器楽 歌唱	40, 41
	ミ・ソ・ラ・ド・レの音 でせんりつづくり	音符カード・2小節	鑑賞・歌唱	48, 49
5年	リズムを選んでアンサン ブル	音色・繰り返し	器楽・鑑賞 歌唱	20, 21
	音階の音で旋律づくり ミ・ファ・ラ・シ・ド・ ミの音で	音色・繰り返し	器楽・歌唱 鑑賞	44, 45
6年	リズムをつかってアン サンブル	音色・繰り返し	鑑賞・器楽	20, 21

教芸

和音の音で旋律づくり ハ長調の和音から音を 選んで	4小節	歌唱・器楽	26, 27
---------------------------------	-----	-------	--------

- 題材の中に音楽づくりが位置付けられており、歌唱・器楽・鑑賞と関連して扱われるようになっている。
- 系統的に題材構成されているので、その中に位置付く音楽づくりも段階的に位置付けられている。
- 音楽づくりの内容は旋律づくり・リズムアンサンブル・音色に着目したものとなっており、無理なく指導しやすい。
- 「旋律づくり」においては

2年	ミ・ソ・ラの音をつかって
3年	ラ・ド・レの音で
4年	ミ・ソ・ラ・ド・レの音で
5年	ミ・ファ・ラ・シ・ド・ミの音で
6年	ハ長調の和音から音を選んで

というように学年ごとの段階を踏んで細かいステップを積み上げるように構成されている。

【音楽】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑦表現と鑑賞の関連
方法	表現と鑑賞の関連の扱い

発行者	調査・研究内容			
教出	○ 基礎となる学習とされている題材群1は、鑑賞と歌唱等焦点化した領域で題材構成がされている。			
	【学年ごとの題材例】			
	学年	題材名	領域	教材名
	1年	どれみとなかよし	鑑賞	どれみのうた
			歌唱	どれみのキャンディー
	2年	いい音見つけて	鑑賞	ゆかいな時計
			歌唱	森のたんけんたい
			器楽	歌にぴったりの楽きを見つけよう
	3年	せんりつと音色	鑑賞	ユモレスク
			鑑賞	白鳥
			歌唱	森の子もり歌
	4年	ひびけ歌声	歌唱	プパポ
			鑑賞	ミュージカル「サウンドオブミュージック」から
	5年	アンサンブルのみりよく	鑑賞	いろいろな合唱
			歌唱	ハロー・シャイニングブルー
鑑賞			組曲「カレリア」から「行進曲風に」	
6年	演奏のみりよく	鑑賞	交響曲第5番「運命」第1楽章から	
		歌唱	語りあおう	

○ 学習の広がりとなる題材群2では、鑑賞と歌唱、器楽、音楽づくり等音楽の多様なよさや特徴を感じ取らせ、活動の幅が広がるよう題材構成がされている。

【学年ごとの題材例】

学年	題材名	領域	教材名
1年	ようすをおんがくで	鑑賞	おどるこねこ
		歌唱	すずめがちゅん
		器楽	〃
		鑑賞	おもちゃのへいたい
		歌唱	おもちゃのチャチャチャ
2年	ようすを音楽で	鑑賞	そりすべり
		歌唱	こぎつね
		器楽	〃
		歌唱	汽車は走る
		器楽	〃
3年	えんそうのくふう	歌唱	せいじゃの行進
		器楽	〃
		鑑賞	せいじゃの行進
4年	日本のリズム・ 世界のリズム	歌唱	ソーランぶし
		鑑賞	葛西ばやし
		鑑賞	サムルノリ、サンバの音楽
		歌唱	おどれサンバ
		器楽	〃
5年	日本の音楽・世界の音楽	歌唱	子もり歌
		鑑賞	会津磐梯山、音戸の舟歌、日本の民謡
		歌唱	こきりこ節
		音楽作り	沖縄のせんりつで遊ぼう
		鑑賞	世界の音楽
6年	音楽に思いをこめて	歌唱	ふるさと
		鑑賞	交響曲第9番「新世界より」第4楽章
		歌唱	家路
		歌唱	さようなら
		鑑賞	別れの曲

○ 1つの題材中で、歌唱、器楽、音楽づくりと鑑賞領域を幅広く関連させた題材構成がされている。

【学年ごとの題材例】

学年	題材名	領域	教材名
1年	はくをかんじてリズムをうとう	歌唱	じゃんけんぽん
		〃	みんなであそぼう
		鑑賞	しろくまのジェンカ
		歌唱	〃
		〃	ぶんぶんぶん
		音楽づくり	ことばでリズム
		歌唱	うみ
2年	音のたかさのちがいをかんじとろう	音楽づくり	かえるの音あそび
		歌唱	かえるのがっしょう
		器楽	〃
		鑑賞	ドレミのうた
		歌唱	ドレミであそぼ
		器楽	〃
		音楽づくり	せんりつあそび
3年	せんりつのとくちょうをかんじとろう	歌唱	あの雲のように
		器楽	〃
		鑑賞	メヌエット
		器楽	山のポルカ
		歌唱	ふじ山
4年	せんりつのとくちょうを感じ取ろう	器楽	陽気な船長
		器楽	せいじゃの行進
		歌唱	ゆかいに歩けば
		歌唱	とんび
		鑑賞	組曲「動物の謝肉祭」から白鳥
5年	いろいろな音のひびきを味わおう	器楽	小さな約束
		歌唱	いつでもあの海は
		器楽	リボンのおどり
		鑑賞	アイネクライネナハトムジーク
6年	いろいろな音のひびきを味わおう	音楽づくり	リズムを選んでアンサンブル
		器楽	ラバーズコンチェルト
		鑑賞	管弦楽組曲「惑星」から木星
		歌唱	われは海の子
		音楽づくり	リズムをつくってアンサンブル

教芸

【音楽】

観点
内容の構成・配列・分量

視
③題材の配列及び教材の分量

方
題材の配列の系統性と題材ごとの教材教

調査・研究内容

※ 表の塗りつぶし部は、オプション部分

発行者	調査・研究内容																																																																											
	1年			2年			3年			4年			5年		6年																																																													
教出	1年	1 おんがくにあわせて 歌5 ・鑑6	2年	1 音楽に合わせて 歌1 ・鑑6	3年	1 すてきな声で 歌2	4年	1 ひびけ歌声 歌1 ・鑑1	5年	1 音の重なりとひびき 器2	6年	1 音の重なりとひびき 器1 ・鑑1	2年	2 リズムとなかよし 歌4 ・音1・鑑1	3年	2 くり返して重ねて 歌1・器1 ・鑑1	4年	2 ひょうしとせんりつ 歌3・器1 ・鑑2	5年	2 アンサンブルのみりよく 歌1 ・鑑2	6年	2 ひびき合いを生かして 歌1・器1 ・鑑1	3年	3 楽きでドレミ 器2・音1 めざせ楽き名人 器2 器7 音1・鑑1	4年	3 せんりつと音色 歌2	5年	3 ひびき合いを生かして 歌1・器1	6年	3 演奏のみりよく 歌2 ・鑑1	4年	4 せんりつと音色 歌1 ・鑑1	5年	4 日本の音楽・世界の音楽 歌3 ・音1・鑑3	6年	4 私たちの国の音楽 歌1 ・鑑1	5年	5 いい音見つけて 歌1・器1 ・音1・鑑1	6年	5 豊かな表現を求めて 歌1・器1	4年	5 世界の歌めぐり 歌5 ・鑑1	5年	5 豊かな表現を求めて 歌2・器1	6年	5 豊かな表現を求めて 歌1・器1	3年	6 おまつりの音楽 歌1 ・音1・鑑1	4年	6 えんそうのくふう 器1 ・音1 ・鑑1	5年	6 日本のリズム・世界の音楽 歌1 ・器1 ・音1 ・鑑3	6年	6 私たちの国の音楽 歌1 ・鑑1	4年	7 おまつりの音楽 歌1 ・音1・鑑1	5年	7 音楽のきまじきころ 鑑1	6年	7 音楽のきまじきころ 鑑1	3年	8 ようすをおんがくで 歌1・器1 ・鑑2	4年	8 えんそうのくふう 器1 ・音1 ・鑑1	5年	8 豊かな表現を求めて 歌2・器1	6年	4 音楽のきまじきころ 鑑1	3年	9 ききあつてあわせて 歌2 器1 音1	4年	9 気持ちを合わせて 器1 音1	5年	9 気持ちを合わせて 歌1・器1	6年	7 音楽に思いをこめて 歌2・器1 ・鑑2

歌14・器6・音5・鑑11

歌13・器7・音6・鑑13

歌11・器11・音2・鑑7

歌12・器6・音3・鑑9

歌10・器5・音4・鑑7

歌9・器4・音3・鑑8

1年

2年

3年

4年

5年

6年

1年	うたでなかよしになろう 歌12	うたでともたちのわをひらげよう 歌2	明るい歌声をひびかせよう 歌3・器1・音1	1 明るい歌声をひびかせよう 歌2 ・音1・鑑1	1 ゆたかな歌声をひびかせよう 歌2	1 豊かな歌声をひびかせよう 歌3
2	はくをかんにてあそぼう 歌1・音1・鑑1	はくのみとまりをかんにてあそぼう 歌2・器1	3 拍のながれにのってリズムをかんじよう 歌1・器1・音1	2 拍の流れにのってリズムを感じ取ろう 歌2・器1・音1・鑑1	4 曲想を味わおう	4 曲想を味わおう
3	はくをかんにてリズムをうたう 歌1・器3・音1・鑑1	4 ひょうしをかんにてリズムをうたう 器3・音1	4 せんりつのとくちようをかんにてあそぼう 歌2・器1・音2・鑑1	3 せんりつのとくちようを感じ取ろう 歌2・器2・鑑2	3 和音の美しさを味わおう 歌1・器1	3 和音の美しさを味わおう 歌1・器1・音1
4	どろみでうたったりふいたりしよう 歌2・器6・鑑1	5 ようすをおもいうかべよう 歌2 ・鑑1	5 いろいろな音を楽しくあそぼう 歌1・器1・音1・鑑2	5 いろいろな音をひびきを感じ取ろう 器2・音1・鑑2	2 いみじいな音をひびきを感じ取ろう 歌1・器2・音1・鑑2	2 いみじいな音をひびきを感じ取ろう 歌1・器1・音1
5	いろいろなおとをたのしもう 器2・音1・鑑1	6 ようすをおもいうかべよう 歌3 ・鑑1	6 日本の音楽に親しもう 歌1・器1・音1・鑑2	6 日本の音楽に親しもう 歌2 ・音1・鑑5	5 詩と音楽を味わおう 歌2 ・鑑1	5 詩と音楽を味わおう 歌2 ・鑑1
6	いろいろなおとをたのしもう 器2・音1・鑑1	7 日本のうたを楽しもう 歌1 ・音1・鑑2	7 日本の音楽に親しもう 音1・鑑3	7 曲の気分を感じ取ろう 歌1・器1 ・鑑2	6 日本と世界の音楽に親しもう 歌1 音1・鑑2	6 日本と世界の音楽に親しもう 歌1 ・鑑2
7	にほんのうたをたのしもう 歌1 ・鑑2	8 音をあわせて楽しもう 歌3・器1 ・鑑1	8 首を台わせて楽しもう 歌1・器1 ・鑑1	7 心をこめて表現しよう 歌3・器1	7 心をこめて表現しよう 歌3・器1	7 心をこめて表現しよう 歌3・器1

歌20・器13・音4・鑑8
歌14・器7・音5・鑑10
歌8・器12・音4・鑑9
歌11・器8・音4・鑑14
歌11・器5・音2・鑑6
歌12・器4・音2・鑑7

【教出】

教出は、題材群 1 (基礎基本)・題材群 2 (活用) で構成されており、オプション部分もある。学年の前半部分は題材群 1 が後半部分に題材群 2 が設定されている。低学年は、題材群 1 の配列の方が多く、高学年になるにつれ、題材群 2 の配列が多くなる。鑑賞のみ、音楽づくりのみを扱った題材もある。

【教芸】

教芸は、各領域・分野が関連した総合的な題材構成がされている。また、発達段階に応じて系統的に整理されている。学年内の題材構成の配列、学びのつながりがある。

【音楽】

観点	内容の構成・配列・分量
視点	⑨発展的な学習に関する内容の記述の工夫
方法	発展的な学習内容の表記及び記述とその具体例

発行者	調査・研究内容				
教出	学年	発展的な学習内容の表記の有無	ページ番号	記述 〔題材名〕	具体例
	第1学年	○	P43	もっと あそぼう 「おとで よびかけっこ」	「こうしんきょく」学習後→たん・たた・うんを組み合わせるリズムをつくる。
			P47	もっと あそぼう 「ようすをおんがくで」	「すずめがちゅん」→色々な生き物で替え歌を作る。
	第2学年	○	P13	もっと あそぼう 「はくのながれとリズム」	「どうぶつラップであそぼう」→速さを変える。他の言葉でラップを作る。
			P17	もっと あそぼう 「はくのながれとリズム」	「ぴよんぴよこロックンロール」→いろいろな動物の鳴き声でまねっこやよびかけっこをする。
			P33	もっと あそぼう 「いい音見つけて」	「森のたんけんたい」→選んだ楽器で“問いと答え”や“リズム・強弱”に変化をつける。
			P43	もっとあそぼう 「ようすを音楽で」	「こぎつね」→歌に合わせて声や楽器を重ねて演奏する。
	第3学年	○	P39	もっと あそぼう 「世界の歌めぐり」	自由に手合わせをつくって遊ぶ。
			P45	もっと あそぼう 「世界の歌めぐり」	手拍子や楽器でリズムを打って歌と重ねて演奏する。
			P53	もっと あそぼう 「気持ちを合わせて」	「パフ」→体や楽器でリズム伴奏を加えて演奏する。

教出

教出	第4学年	○	P19	もっと あそぼう 「ひょうしとせんりつ」	「トルコ行進曲」→「メリーさんの羊」を速度や強弱が伝わるように指揮をする。
			P24	めざせ楽器名人 サミングにちょう戦しよう	「ハローサミング」 「もののけ姫から」高音ミの練習
			P43	もっと あそぼう 「日本のリズム・世界のリズム」	「おどれサンバ」→声や楽器で、「おどれサンバ」にリズムばんそうをつける。
			目次, P35 P25P45 P60P63P65	はってん…小学校の「音楽」で学習する内容ではありませんが、覚えたり使ったりしてみよう。	全休符の説明
	第5学年	○	P29	もっと あそぼう 「日本の音楽・世界の音楽」	民謡→暮らしの中の特徴ある声の出し方やふしまわしを見つたりまねたりする。
			P33	沖縄のせんりつで遊ぼう「日本の音楽・世界の音楽」	「谷茶前」をもとにフィリッの音で旋律をつくる。
			P37	もっと あそぼう 「豊かな表現を求めて」	「風とケーナのロマンス」→リズム伴奏をつかって合わせて演奏する。
			P55	チャレンジしよう	2曲のしの笛を鑑賞し、しの笛の演奏の仕方を学ぶ。「かりかりわたれ」
			目次, P25 P47P62P67	はってん…小学校の「音楽」で学習する内容ではありませんが、覚えたり使ったりしてみよう。	全休符の説明
	第6学年	○	P15	もっと あそぼう 「ひびき合いを生かして」	「ロックマイソウル」→強弱の変化、独唱部分をつくるなど響きの変化を楽しむ。
			P35	もっとあそぼう	循環コードの例をもとにして、音楽づくりに取り組む。
			P37	もっと あそぼう 「私たちの国の音楽」	「越天楽今様」→笛をタングィングなしで演奏してみる。

<p>教出</p>			<p>目次, P31 P51P53 P55P57</p>	<p>はってん…小学校の「音楽」で学習する内容ではありませんが、覚えたり使ったりしてみよう</p>	<p>全休符の説明</p>
	<p>○ 第1学年から、主に“もっとあそぼう”という表記で、“発展学習”が提示されている。また、第4学年からは、“はってん”という表記で“全休符”が説明されている。</p>				

教芸

学年	発展的な 学習内容の 表記の有無	ページ番号	記述 (「題材名」)	具体例
第1学年	なし			
第2学年	なし			
第3学年	○	P3	ようこそリコーダーの世界へ	「ナイチンゲール」…リコーダー曲
第4学年	○	P15	参考曲 「拍の流れにのってリズムを感じ取ろう」	「ブラジル」…リズムの特徴を感じ取って聴く。
		P29	参考曲 「せんりつのとくちょうを感じ取ろう」	「美しきロスマリン」…バイオリンとピアノの演奏と聴き比べをする。
		P45	参考曲 「日本の音楽に親しもう」	「トラジ打令」「小さな淡黄色の馬」…リズムや声の感じに気をつけながら、他国の民謡を聴く。
		P55	参考曲 「曲の気分を感じ取ろう」	「つるぎのまい」
第5学年	○	P19	参考曲 「いろいろな音のひびきを味わおう」	「双頭のわしの旗の下に」…吹奏楽による合奏曲を弦楽合奏曲「アイネクライネナハトムジーク」と聴き比べる。
第6学年	○	P15	参考曲 「いろいろな音のひびきを味わおう」	「メヌエット」…「ラバーズコンチェルト」のもとなった曲として紹介。拍子や曲想の違いに気をつけながら聴き比べる。

- 1, 2年生は表記なし。3年生からは, “参考曲” という表記で, 学習したことを生かして聴く曲が挙げられている。
- 3年生の「ようこそリコーダーの世界へ」は, 音楽リズムで紹介されており, ソプラニーノからコントラバスリコーダーまで写真による提示もある。
- 3年生以上の巻末 (P. 70, 71) の色々な音符や記号のまとめの表中に, 「ステップアップ ここにしめされた★ (ピンク) も, 覚えておくと便利です。」と示され中学校での学習も視野に入れた表記がある。

【音楽】

観点	内容の表現・表記
視点	⑩本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用
方法	キャラクターやマーク等の活用，楽譜の扱い

発行者	調査・研究内容
教出	<p>○ マークの活用について（目次にて紹介）</p> <p>鑑賞，にっぽんのうたみんなのうた，おんがくのもと，活動のポイント 前の学習を思い出そう，他のページも見てみよう，共通教材 はってん…小学校の「音楽」で学習する内容ではありませんが，覚えたり使ったり してみよう。（4年生以上）</p> <p>これらの項目に特定のマーク（CDや葉っぱ等）があり，紙面上で必要に応じて 表記される。</p> <p>○ 楽譜の扱いについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年「こんにちはけんぱんハーモニカ」での楽譜の扱いについて <p>P.33 囲い線や小節線，終止線に当たる部分の線は青で，薄ピンクで塗りつぶされ た帯線。下の音が，黒丸に白抜きひらがな「と」という形で帯線の中に記 載。四分休符は，◇で（うん）と表記されている。</p> <p>P.37 2段の帯線。配色は上記と同様だが，囲み線の上辺が無く，第4線，第5線 への広がりを感じさせるものとなっている。第1線の下にレ，第1線上にミの 音が黒丸に白抜きひらがなで表記され，音の高さを視覚的にとらえやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2年「楽きでドレミ」での楽譜の扱いについて <p>P.20 五線，ト音記号，拍子記号，小節線，終止線とも青で表記。音の名前は白抜 きカタカナで表記されているものの，四分音符，四分休符を使って「かえるの がっしょう」の楽譜を表記している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3年「せんりつと音色」（鑑賞）での絵譜の扱いについて <p>P.31 旋律の動き，音の感じをイメージさせやすい図が掲載されている。 P.33 チェロの旋律とピアノの動きを対照的に絵譜で表記している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5年「気持ちを合わせて」（合奏）での楽譜の扱いについて <p>P.46,47 各段にパートのイラストが提示してあり，演奏順を目で追いやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6年「演奏のみりよく」（鑑賞）での絵譜の扱いについて <p>P.19 ベートーベン作曲交響曲第5番「運命」第1楽章の冒頭部分の総譜（スコア） を掲載している。特徴的な音型の繰り返し，どのような楽器群が同時に演奏し ているのか，視覚的に分かりやすい。</p>

- キャラクターの活用について
 - ・ 全学年共通で“ダン”というキャラクターが登場し、〔共通事項〕と関連させて学習や工夫の観点、学習のヒントを提示していく。
- マークの活用について（目次と各紙面上で提示）
 - こころのうた、〔音楽プリズム〕、〔心をつなぐ歌声〕、鑑賞の学習、音や音楽をつくる学習等
- 楽譜の扱いについて
 - ・ 1年「どれみでうたったりふいたりしよう」での楽譜の扱いについて
 - P.34,35 1段の帯線の中に音の高さが視覚的に感じ取られるよう、黒丸に白抜きひらがなで音の名前が記載されている。五線譜での楽譜も同時に記載されている。
 - P.36 2段の帯線。囲い線や小節線、終止線に当たる部分の線はグレーで、水色で塗りつぶされている。グレーの線は上辺には無く、第4線、第5線への広がりを感じさせるものとなっている。
 - ・ 2年「音のたかさのちがいをかんじとろう」での楽譜の扱いについて
 - P.20,21 鍵盤ハーモニカで演奏するための「かえるのがっしょう」の楽譜が薄い黄色で塗りつぶされた2段の帯線で表記されている。囲い線や小節線、終止線に当たる部分の線はグレー。音符は黒丸に白抜きのカタカナで音の名前が表記され、四分休符は黒点で表記されている。
 - ・ 3年「せんりつのとくちょうをかんじとろう」（鑑賞）での絵譜の扱いについて
 - P.32 旋律の動きや音の感じをイメージしやすい図形で表示されている。
 - P.44,45 「いろいろな音のひびきをかんじとろう」では、トランペットとホルンの響きの特徴を表す図形で表示されている。
 - ・ 5年「曲想を味わおう」（合奏）での楽譜の扱いについて
 - P.30,31 リズム伴奏を加える工夫の楽譜の提示がある。
 - ・ 6年「いろいろな音のひびきを味わおう」（鑑賞）での楽譜の扱いについて
 - P.16,17 主要な旋律の冒頭部のみ抜粋して単旋律で表示している。

【使用実績に関すること】

全学年共通キャラクターの吹き出しで〔共通事項〕と関連させて学習のヒントが示されていたので、指導がしやすかった。

楽譜については、低学年では音の高低を2段の帯線で示してあるため、抵抗なく扱うことができた。その後、音の幅が広がるため、5線になるが2段の帯線からの移行は指導がしやすかった。また、図形楽譜が適宜用いられており、視覚的にとらえる指導ができた。

【音楽】

観点	言語活動の充実
視点	①鑑賞領域における言語活動の工夫
方法	鑑賞の視点の提示の仕方及びワークシートの工夫とその具体例

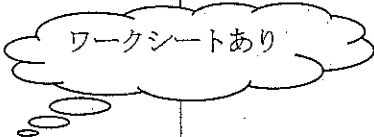
発行者	調査・研究内容				
教出	【鑑賞の視点の提示の仕方】鑑賞曲のページから抜粋 1年				
	よびかけ (太字)	よびかけ (細字)	吹き出し	活動のポイント	ページ
	きよくにあわせてからだをうごかさう		・どんなふうにあるいたらぴったりかな ・きよくにあわせて てやひざをうってもいいね		8, 9
		みんなはどんなうたで あそんだことがあるかな。			13
	ジェンカのリズムであそぼう			きよくにあわせて、てやがっきでリズムをくりかえしうったり、おどったりしよう。	20, 21
	どれみにあわせて からだをうごかさう			うたのなかにどれみがでてくるよ。うたをききながらどれみのたいそうができるかな。	26, 27
		らっぱのあいずのようなせんりつと、ほかのがっきによるはずむようなせんりつが、こうたいででてくるね。			43
こねこになっておどろう	あれあれ。こねこがおんがくにあわせておどりはじめたよ。でも あんまり はしゃぎすぎると…。	・たのしそうにおどっているね。ときどきおはなししているみたい。 ・とちゅうできよくのかんじがかわるね。こねこはこんどはなにをしているのかな。 ・はじめのせんりつがまたでてきたね。 ・きよくのおわり		44, 45	

		はどうなるのかな。		
おもちゃのようすをそうぞうしながらきよくにあわせてみぶりをしよう	どんなせんりつやがっきのおとがきこえてくるかな。			48 49
2年				
よびかけ (太字)	よびかけ (細字)	吹き出し	活動のポイント	ページ
きよくのかんじに合わせて体をうごかさう			はくのながれやリズム, せんりつとうごきに合わせ、じゅうにうごいてみよう。顔のひょうじょうで、きよくのかんじをあらわしながらきいても楽しいよ。	4, 5
はくのながれにのって手びょうしやことばであそぼう				12
どんな音やリズムがきこえてくるかな	時計さんはいつも休まずうごいています。でもあれあれ？今日は時計さん、どうしたのかな？	・ウッドブロックの音に合わせて、手をうごかしながらきいてみよう。 ・時計のベルの音がきこえたら、手をふってみよう。	・時計の音をあらわしている二つの楽きは、どんな音の出し方をしているかな。 ・このきよくのおもしろいところを、友だちにお話ししよう。	30 31
いろいろなたいこの音を楽しもう	むかしからおまつりやおいわいのときなどに、いろいろなたいこがつかわれてきました。	みんなはどんなたいこをきいたことがあるかな。		38 39
どんなようすを音楽があらわしているかな			・くりかえしきこえてくる音やリズムは、何をあらわしているかな。 ・とちゅうで出てくる音にもちゅういしてきこう。	40 41
汽車の走るようすを音	楽しい冬休み。子どもたちが汽車に			45

楽であらわ そう	のってりょこうに しゅっぱつしま す。			
	このきよくは竹を つかったおどりの 音楽です。はくに のって体をうごか しながらきこう。			47
みんなの音 楽時計をつ くろう	時計がひらいて楽 しいしかけがとび 出してきたよ。			52

3年

よびかけ (太字)	よびかけ (細字)	吹き出し	活動のポイント	ページ
どんな音が するかな		・これが、みんな が使うソプラノリ コーダーの音だ よ。 ・友だちと音を合 わせるともっと楽 しいよ。		16 17
くり返すリ ズムやせん りつを合わ せよう	どんなリズムが、 くり返して聞こえ てくるかな。			24 25
せんりつの へん化をき き取りなが らバイオリ ンのえんそ うを楽しも う	この曲は、ピアノ のどくそう曲とし て作曲されました が、バイオリンの えんそうでも広く 知られています。 「ユモレスク」と は、「おどけた感じ の小さな作品」と いう意味です。		・バイオリンの音 色を味わってきこ う。 ・せんりつの流れ に合わせて、手な どを動かしながら きいてみよう。せ んりつを感じが わったり、前のせ んりつがまた出 てきたりするね。	30 31
せんりつの 流れをきき 取りながら チェロとピ アノの音楽 を楽しもう	チェロのせんりつ の流れに合わせ て、手などを動か しながらきいてみ よう。		・チェロの音色を 味わってきこう。 ・チェロのせんり つの流れや、ピア ノの動きに気をつ けてきこう。	32 33
世界の友だ ちの歌を楽し もう	曲の感じが少しず つちがうね			36
	曲に合わせて上の リズムばんそうを 打ったり、体を動 かしたりしながら			47

<p>楽きの音色 や曲の流れ をとらえて きこう</p>	<p>きこう。 ・フルートとハー プが活やくしま す。曲が進むにつ れて、いろいろな 楽きがくわわっ てきます。 ・さいしょに二つ のせんりつが交代 であらわれます。 曲が進むにつれ て、二つのせんり つはどうなってい くかな。</p>		<p>48 49</p>
<p>物語の音楽 を楽しもう</p>	<p>登場人物や動物 を、せんりつや楽 きの音で表してい るよ。</p>		<p>56 57</p>

4年

よびかけ (太字)	よびかけ (細字)	吹き出し	活動のポイント	ページ
	<p>この曲は今から90 年ほど前に、「さく らさくら」のせん りつを使って、こ このアンサンブル のためにつくられ ました。</p>			11
<p>いろいろな 歌の表げん を楽しもう</p>	<p>物語は、オースト リアのトラップ家 と家庭教しのマリ アとの、心温まる ふれ合いをえがい たものです。</p>		<p>・家庭教しマリア (女声) やトラップ家の子どもた ち、子どもたちの父親ト ラップ大佐 (男声) など の、歌声のちがいに注目 してきいてみよう。 ・それぞれの曲のみりよ くを感じてきこう。</p>	14 15
<p>はくの流れ にのってし きをしてみ よう</p>	<p>曲に合わせて、4 分の2びょうしの しきの動きをして みよう。強弱など の変化にも気をつ けて、動きができ たらいいね。</p>			18
<p>ひょうしの ちがいをき き取り、は くの流れに のって歌お う</p>			<p>歌ったりきいたりしなが ら、しきをしてみよう</p>	20 21

かけ合いや重なりのおもしろさを味わおう	トランペットとホルンは、金管楽器の仲間です。ひびきのちがいに注目してきいてみよう。		・トランペットとホルンが、よびかけ合うおもしろさや、全体が重なったときのひびきを感じ取ってきこう。 ・下の「曲全体の流れ」をもとに、「アラホーンパイプ」全体のよさやおもしろさなどを見つけよう。	30 31
いろいろな国の音楽のリズムや楽器の音色を楽しもう	おはやしをえんそうする人は、楽器のリズムなどを言葉で唱えて覚えませす。みんなも、たいこのリズムをくり返し言葉で唱えてみよう。			40 41
曲の流れを感じ取り、全体を味わってきこう	音楽に合わせて体を動かしたり、歩いたり、しきの動きをしたりしながらきいてみよう。	ワークシートあり		48 49
いろいろな歌声を楽しもう	それぞれの歌声には、どんな特ちょうがあるかな。			54 55

5年

よびかけ (太字)	よびかけ (細字)	吹き出し	活動のポイント	ページ
いろいろな合唱のひびきをきき比べよう	声のいろいろな組み合わせで、合唱のひびきは変わります。			16 17
オーケストラのひびきを楽しもう			せんりつを演そうする楽器が変わっていくおもしろさを、感じ取ってきこう。	22 23
わたしたちの国の民ようや子もり歌に親しもう	民ようの歌い方や声に注目しよう			28 29
いろいろな声や楽器の表現を楽しもう			歌い方や楽器の音色、音の重なり方のおもしろさを感じ取ってきこう。	34 35
曲のおもしろいところを見つけて	いくつかのことに気をつけながらきいてみよう。 ・ぼんそうのくり返し	ワークシートあり		44 45

きこう	<ul style="list-style-type: none"> ・合いの手 ・主なせんりつのくり返しや変化 曲のとちゅうで速さは変わるかな。			
変そう曲を楽しもう	<ul style="list-style-type: none"> ・主題の変化やばんそうの動きをきき取り、変そう曲を楽しもう。 ・それぞれの変そうで活やくする、楽器のひびきや、楽器どうしのかかわり合いに注目してきこう。 ・気に入った変そうを選んで、その理由を友達に伝えよう。 			52 53
しの笛のみりよく	ひびきやふしまわしなどに気をつけて、しの笛の演奏をきいてみましょう。			54 55

6年

よびかけ (太字)	よびかけ (細字)	吹き出し	活動のポイント	ページ
せん律やひびきの変化をとらえて演奏しよう	せん律やひびき、速度の変化をきき取り、その効果を感じ取ろう。			12 13
せん律の動きや重なりをきき合っ て演奏しよう		カノンって何？ (カノンの説明)		16 17
演奏による表現のちがいをきき取ろう	同じ曲でも演奏の仕方によって感じが変わるね。速度や強弱など、ちがいの理由をみつけよう。			18 19
二つの楽器のかかわりに気をつけてきこう	<ul style="list-style-type: none"> ・せん律の流れに合わせて、手などを動かしながら、曲の最初の部分をきいてみよう。 ・アのせん律は、二つの楽器によってカノンで演奏されます。どちらの楽器が先に始まるか、注意してきこう。 ・イのせん律は、どちらかの楽器で演奏されます。1回目の 			26 27

ワークシートあり

	イと2回目のイとでは、どのような変化があるかな。			
日本の楽器の音色を味わってきこう			<ul style="list-style-type: none"> ・ことと尺八の音色を味わおう。 ・せん律や速度の変化などをとらえてきこう。 	38 39
作曲者の思いを想像しながらオーケストラの音楽を味わおう			<ul style="list-style-type: none"> ・これまでいろいろな音楽の聴き方を楽しんできたね。それらを思い出しながら第4楽章をきき、良さや美しさなどを味わおう。 ・第4楽章のとちゅうでは、「新世界より」のほかの楽章に出てきたせん律が、形を変えて現れています。上の「家路」のせん律も、きこえてくるね。 	42 43
	せん律から感じられるふん囲気や味わいについて、自由に話してみよう。			45
ジャズとクラシック音楽の出合い	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムやせん律の特ちょう、強弱や速度の変化による効果、楽器の奏法と音色のおもしろさなど、この曲のいろいろなみりよくを見つけよう。 ・ピアノとオーケストラのかけ合いのおもしろさを感じ取ろう。 			48 49

全学年を通しての気づき

- よびかけ（太字）は文字の大きさや色を変えて、キーワードを強調している。
- 題材名の下に統一した記号（葉っぱのマーク）で、“おんがくのもと”として【共通事項】が示されている。

【ワークシートの工夫とその具体例】

- 1・2年生…鑑賞曲ではなく、音見つけをさせるところにワークシートがある。内容は、「何の音だったか」「どんな音だったか」
- 3～6年…1つだけワークシート例が掲載されており、各部分を比較したり構成を意識したりできるようになっている。

○ 内容は

3年…曲の感じや雰囲気を書く

4年…気がついたことや感じたことを項目ごとに書く。はじめ・なか・おわりを意識して書かせるもの

5年…気がついたことや感じたことを、はじめ・なか・おわりに分けて書く

6年…よいな、おもしろいなと思ったこととその理由を書く

○ いずれの学年も、書いたことをもとに、自分の気づきや思いを友達に伝えるよううながしている。

【鑑賞の視点の提示の仕方】鑑賞曲のページから抜粋

1年

よびかけ (太字)	よびかけ (細字)	吹き出し	ページ
おんがくに あわせて からだを うごかしま しょう。	おんがくに あわせて、 手をうったり あしぶ みを したり しまし よう。	おんがくに あわせて てで うっていたのが はくだよ。	10 11
たんうんたんうんたん たんたんうんのリズム をうちましよう。	・おんがくに あわせ て、うたったり からだ を うごかしたり し ましよう。 ・おんがくに あわせ て、したの リズムを てやカスタネットでう ちましよう。		20 21
こねこたちが おどっ ている ようすを お もいうかべながら き きましよう。	おんがくの かんじに あわせて、からだを う ごかしながら ききま しよう。	おんがくの かんじが かわったら、からだの うごかしかたも かえ てみよう。	38 39
みみを すまして い ろいろな おとを き きましよう。	ウッドブロックとトラ イアングルのおとに きをつけて ききまし よう。	とけいは さいごに どうなるかな。	44 45
わらべうたを きいた り うたったり しま しよう。	あそびかたを おぼえ て みんなで たのし みましよう。	わらべうたには、おなじ うたでも いろいろな うたいかたや あそび かたが あるよ。	52 53
おんがくを たのしみ ながら ききましよう。	・おんがくに あわせ て、てを うったり あ しぶみを したり し ながら ききましよう。 ・おんがくの つよさに あわせて、てを うつ つよさを かえながら ききましよう。		62 63

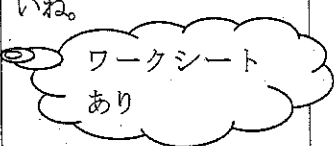
教芸

2年

よびかけ (太字)	よびかけ (細字)	吹き出し	ページ
あそびうたを きいた り うたったり しま しよう。	あそびかたを おぼえ て、みんなであそびな がら うたいましよう。	ほかに どんな あそ びうたを している かな。	6 7
2びょうしを かんじ ながら ききましよう。	・このきょくには 2つ の せんりつが 出て きます。せんりつが か わる ところに 気を つけて ききましよう。 ・それぞれの せんりつ	きこえてくる 音楽の つよさに あわせて、手 をうつ つよさも か えてみよう。	12 13

		に あう リズムを 手でうちながら きき ましょう。		
3びょうしを かんじ ながら えんそうした り きいたりしましよ う。	音楽に あわせて、体を うごかしながら きき ましょう。		16 17	
音の たかさに 気を つけながら、きいたり うたったり しましよ う。	音の たかさの ちが いを かんじとりなが ら、「ドレミのうた」を きいたり うたったり しましょう。		22 23	
いろいろな 音の中か ら すきな音を さが しましょう。	いろいろな がっきの 音のちがいに 気をつ けて ききましょう。		34 35	
人形の ようすを お もいうかべながら き きましょう。	・音楽のかんじに あわ せて、体をうごかしなが ら ききましょう。 ・音楽のかんじが かわ るところに 気をつけ て ききましょう。	人形が 目ざめたと かんじたのは どうし てかな。	42 43	
わらべうたを きいた り うたったり しま しょう。	あそびかたを おぼえ て みんなで 楽しみ ましょう。	あそびかたを お年よ りや おうちの人に おそわってもいいね。	50 51	
いろいろな がっきの 音を 楽しみながら ききましょう。	おもなせんりつを え んそうしている がっ きの 音に 気をつけ て ききましょう。	・おもな せんりつが なんかいも 出てきま した。 ・トランペットと バイ オリンが おはなしし ているような ところ が ありました。 ・きこえてくる せんり つを まねて うたっ てもいいね。	54 55	

3年

よびかけ (太字)	よびかけ (細字)	吹き出し	ページ
リコーダーの いろい ろな音に 親しまし よう。	リコーダーの音のとく ちょうを かんじとり ながらききましょう。		21
せんりつの音の上がり 下がりやリズムに気を つけてききましょう。	・アとイのかんじのちが いに気をつけてききま しょう。 ・アとイのせんりつは、 それぞれどのようなか んじがしたか、気がつい たことをまとめましょ う。 ・まとめたことを参考に	音楽に合わせて、主なせ んりつの図形を指でた どったり、体を動かした りしながらきいてもい いね。 	32 33

	しながら、ア→イ→アの曲のまとまりに気をつけてきいて、気がついたことを話し合ひましょう。		
トランペットとホルンのひびきに親しみましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・トランペットの音のとくちょうをかんとりながらききましょう。 ・何回もあらわれる主なせんりつに気をつけてききましょう。 ・ホルンの音のとくちょうをかんとりながらききましょう。 ・いろいろなせんりつのくりかえしに気をつけてききましょう。 	トランペットとホルンの音をくらべて、それぞれどんなかんじがしたか話し合ってみよう。	44 45
日本の楽器の音に親しみましょう。	楽器の音に注目しながら、おはやしをきいて、それぞれのおはやしのとくちょうをかんとりましょう。	日本の各地には、いろいろなおはやしがつたえられているよ。	46 47
せんりつが重なり合うおもしろさをかんとりましょう。	せんりつの重なりや音の強さに気をつけてききましょう。		50 51

4年

よびかけ (太字)	よびかけ (細字)	吹き出し	ページ
2人の歌声による音楽のおもしろさを感じ取りながらききましょう。	2人の歌声のかけ合いや重なりに気をつけてききましょう。		10 11
せんりつのとくちょうを感じ取りながらききましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の感じを味わいながらききましょう。 ・曲の感じと、それを生み出しているとくちょうをまとめましょう。 	ふんいきのちがう ほかの曲とききくらべてもいいね。	28 29
せんりつが重なり合うおもしろさを感じ取りましょう。	2つのせんりつの重なり合いやかけ合いに気をつけてききましょう。	最後に2つのせんりつが重なるところでは、「王の行進」のせんりつは、どのように変わっているかな。	30 31
フルートとクラリネットのひびきに親しみましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・フルートの音のとくちょうを感じ取りながらききましょう。 ・主なせんりつの美しさ 	フルートとクラリネットの音を比べて、それぞれどんな感じがしたか話し合ってみよう。	36 37

ワークシートあり

	を味わいながらききましょう。 ・クラリネットの音のとくちょうを感じ取りながらききましょう。 ・拍の流れにのって、手拍子を打ちながらききましょう。		
ことの音楽をききましょう。	ことの音のとくちょうを感じ取りながらききましょう。		51
音楽が表している様子を思いうかべながらききましょう。	強さや速さの変化、楽器の音色に気をつけながらききましょう。		54 55

5年

よびかけ (太字)	よびかけ (細字)	吹き出し	ページ
いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを味わいながらききましょう。	旋律の重なり方の変化に気をつけながらききましょう。		18 19
曲想の移り変わりを感 じ取りながらきま しょう。	曲想が変化する ところに気をつけ てききましょう。		26 27
日本語の言葉の感 じを生かした歌 曲を楽しみま しょう。	・言葉の感じと 旋律が一体とな って、曲想を生 み出しているこ とに注目しなが らききましょう。 ・歌詞の内容を生 かした表現の工 夫を味わいなが らききましょう。		32 33
和楽器のひびきと 旋律の美しさを 味わいながら ききましょう。	ことと尺八の音 色や旋律の美し さを感じ取りな がらききましょう。		40 41
声による世界の いろいろな国の 音楽に親しみ ましょう。	・それぞれの国 の人々が大切に 伝えている音楽 をききましょう。 ・声の特徴や音 楽の雰囲気の内 容のちがいに気 をつけてきま しょう。	世界のいろいろな 国の音楽について、 図書室やインター ネットで調べて みるのもいいね。	46 47

6年

よびかけ (太字)	よびかけ (細字)	吹き出し	ページ
オーケストラのひ びきを味わい ながらきま しょう。	さまざま楽器 の組み合わせか ら生まれるひび きの美しさを 味わいなが らききましょう。	楽器が増えてい くにつれて、オ ーケストラのひ びきは、どのよ うに変わって いくかな。	16 17

曲想の移り変わりを味わいながらききましょう。	・旋律のくり返しや変化にきをつけてききましょう。 ・音楽に合わせて、体を動かしたり指揮のまねをしたりしながらきいて、速さや強さについて気づいたことや感じ取ったことを話し合きましょう。		30 31
言葉と旋律の美しさを感じ取りながら、日本の歌曲を味わいましょう。	歌詞と旋律が一体となって生み出す曲想を味わいながらききましょう。		36 37
雅楽をききましょう。	日本に昔から伝わっている楽器の音色を味わいながらききましょう。		40 41
楽器による世界のいろいろな国の音楽に親しみましょう。	・それぞれの国の人々が大切に伝えている音楽をききましょう。 ・楽器の音色の持ちようや音楽の雰囲気の違いにきをつけてききましょう。	世界のいろいろな国の音楽について、図書室やインターネットで調べてみるのもいいね。	42 43

複数学年に共通すること

- 呼びかける文の中の手やカスタネットなどがイラストで示してある。(低学年)

【ワークシートの工夫とその具体例】

- ワークシートの例は3・4年生のみに掲載がある。
- 3年は、2つの旋律の曲の感じとそれを生み出している特徴を書かせる内容
2つの部分が比較できるようにしてある。
- 4年は、曲の感じとそれを生み出している特徴を書かせる内容
- どちらも、きくときのポイントとして、[共通事項] が例に示されている。